

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和 2年 4月13日

盛岡市議会議長  
遠藤政幸様

議員氏名 竹田浩久



盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により  
令和元年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	600,000 円	
支 出	調査研究費	456,538 円	会派視察（鹿児島県鹿児島市、熊本県人吉市等） 会派視察（山形県山形市、秋田県秋田市等） 市政調査会視察（台湾花蓮縣、花蓮市、台北市） 会派視察（うるま市、那覇市）
	研修費	10,000 円	市政調査会拠出金1件
	広報費	円	
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	466,538 円	
差引残余 ①－②	133,462 円		

様式第5号

政務活動費出納簿

【令和元（平成31）年度分】

（単位：円）

年月日	内容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳									
				調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所費	
H31.4.10	政務活動費交付金	200,000											
R1.5.7	会派視察(5/8~10) 視察先手土産		247	247									
R1.5.7	視察交通費、宿泊 料、企画料		91,234	91,234									
R1.5.8	視察高速道路通行料 金		733	733									
R1.5.9	視察資料代		5,000	5,000									
R1.5.10	視察高速道路通行料 金		365	365									
R1.9.10	政務活動費交付金	100,000											
R1.10.10	政務活動費交付金	300,000											
R1.11.3	会派視察(11/5~7) 視察先手土産		477	477									
R1.11.5	視察山形市宿泊料		6,500	6,500									
R1.11.6	視察秋田市宿泊料		8,320	8,320									
R1.11.14	視察貸切バス代		23,434	23,434									
R1.11.15	市政調査会拠出金		10,000	10,000									
R1.12.5	市政調査会視察 (11/22~26)交通宿 泊費、付随経費		202,980	202,980									
R2.2.3	会派視察(2/5~7) 視察先手土産		268	268									
R2.2.7	視察タクシー代		397	397									
R2.2.14	視察交通費、宿泊 料、企画料		116,533	116,533									
経費小計				456,538	10,000								
合計額		600,000	466,538	差引残額							133,462		

様式第6号

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R1. 5. 7	247 円	会派視察(5/8~10) 視察先手土産	
R1. 5. 7	91,234 円	視察交通費、宿泊料、企画料	
R1. 5. 8	733 円	視察高速道路通行料金	
R1. 5. 9	5,000 円	視察資料代	
R1. 5. 10	365 円	視察高速道路通行料金	
R1. 11. 3	477 円	会派視察(11/5~7) 視察先手土産	
R1. 11. 5	6,500 円	視察山形市宿泊料	
R1. 11. 6	8,320 円	視察秋田市宿泊料	
R1. 11. 14	23,434 円	視察貸切バス代	
R1. 12. 5	202,980 円	市政調査会視察(11/22~26)交通宿泊費、付随経費	
R2. 2. 3	268 円	会派視察(2/5~7) 視察先手土産	
R2. 2. 7	397 円	視察タクシー代	
R2. 2. 14	116,583 円	視察交通費、宿泊料、企画料	
	円		
	円		
	円		
合計	456,538 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.5.7
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	3,218	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	13分の1	
政務活動費支出金額	247	円

【支払概要】

視察先手土産  
 参加議員13名で均等割 原本は千葉議員が保管  
 247円×13名=3,211円 端数7円は千葉議員に計上  
 参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、佐藤 栄一  
 菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子  
 中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

0000-8032

2019年 5月 7日火曜日

領 収 証  
 様

盛友会

¥3,218-

(消費税 ¥238)

但し、お品代として  
 老舗白沢せんべい店株式会社

盛岡市粕屋町2-16  
 TEL019-622-7224

担当者



\*保管上のお願

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。



領収証No 2211

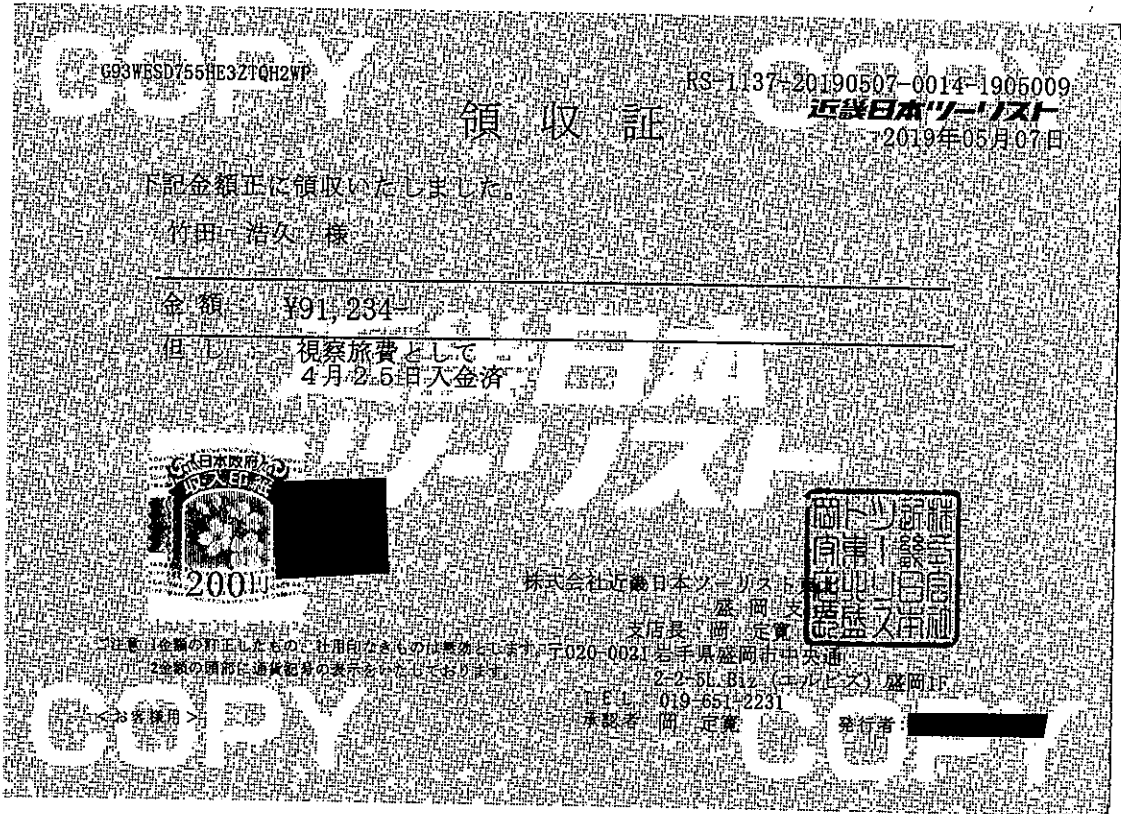
政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.5.7
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	91,234	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	91,234	円

【支払概要】		
支出内訳：盛岡⇄東京JR券	29,480	円
モノレール往復	980	円
羽田空港⇄鹿児島空港	23,080	円
貸切バス代	14,620	円
宿泊費	22,074	円
企画料金・保険料	1,000	円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.5.8
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	9,530	円
支出按分率（※按分が必要な場合）	13分の1	
政務活動費支出金額	733	円

【支払概要】

高速道路通行料金

参加議員13名で均等割 原本は千葉議員が保管

733円×13名=9,529円 端数1円は千葉議員に計上

参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、佐藤 栄一

菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、官川 寿、櫻 裕子

中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦

領収書等添付欄

別紙に添付

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 鹿児島本線

TEL 099-243-8131  
 高速道路は便利でお得なETC  
 あなたもETCをつけてみませんか！

19年 5月 8日 14時14分

車種 特大

通行料金 ¥2,650-

(現金)

—入口料金所— 清辺鹿児島空港

道路損壊や故障車、落下物を発見したら...

道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号216-00431354-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 人吉

TEL 0966-22-5126  
 高速道路は便利でお得なETC  
 あなたもETCをつけてみませんか！

19年 5月 9日 10時02分

車種 特大

通行料金 ¥6,880-

(現金)

—入口料金所— 鹿児島本線

道路損壊や故障車、落下物を発見したら...

道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号203-00730858-00

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.5.9
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	65,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	13分の1	
政務活動費支出金額	5,000	円

【支払概要】

視察資料代  
 参加議員 13名で均等割 原本は千葉議員が保管  
 5,000円×13名=65,000円  
 参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、佐藤 栄一  
 菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子  
 中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦

領収書等添付欄  別紙に添付

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

盛友会

様

R 1年5月9日

★ ¥65000-

但 資料代として

上記正に領収いたしました

内 訳  
 税抜金額  
 消費税額等(%)

〒868-0444  
 熊本県球磨郡あさぎり町深田西879-1  
 食・農・人総合研究所 リュウキンカの郷  
 代表 本 田 節  
 TEL(0966)45-1600  
 FAX(0966)32-9077



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1. 5. 10
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	4,380	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	12分の1	
政務活動費支出金額	365	円

【支払概要】

高速道路通行料金

参加議員 12名で均等割 原本は千葉議員が保管

365円×12名=4,380円

参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、佐藤 栄一

菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子

中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人

領収書等添付欄

別紙に添付

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 溝辺鹿兒島空港

TEL 0995-58-3056

高速道路は便利でお得なETC

あなたもETCをつけてみませんか！

19年 5月10日 9時43分

車種 特大

通行料金 ¥4,380-

(現金)

-入口料金所- 人吉

道路損壊や故障車、落下物を発見したら...

道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号207-00490905-00

視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹 田 浩 久

会派名	盛友会
実 施 日	令和元年5月8日(水)
参 加 者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中野孝之助、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および 調査項目	鹿児島県鹿児島市 観光農業公園の運営について
視察の概要 および所感	<p>【視察の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島市観光農業公園（グリーンファーム）の運営について</li> </ul> <p>【所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備費36億円、年間赤字は1億3千万円。今後さらなる計画があるということだが、直営施設でもあり議会からも厳しい指摘があるようだ。しかしながら、近隣農家との交流や地域おこし協力隊員のかかわりなど積極的に行われている。合併を機に整備したとのことだが市の熱意を感じた。気候の違いはあるが多いに参考となった。</li> </ul>
【添付資料】	有り

視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹田 浩久

会派名	盛友会
実施日	令和元年5月9日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中野孝之助、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	熊本県人吉市 高齢者施策について
視察の概要および所感	<p>【視察の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者施策の概要について</li> <li>・ 高齢者見守りに関する事業 (ひとよしSOSキーホルダーの取り組み) について</li> </ul> <p>【所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化社会を迎え、人吉市のSOSキーホルダーの取組みは高齢者や認知症の方への対応等に大変有効と思われる。所持率50%を目標としているが、事故の削減にもつながると思われ有意義な取り組みと感じた。</li> </ul>
【添付資料】	有り

視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹 田 浩 久

会派名	盛友会
実 施 日	令和元年5月9日(日)
参 加 者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中野孝之助、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	熊本県人吉市・あさぎり町 地域活性化の取組と農山村漁村の女性の自立について
視察の概要および所感	<p>【視察の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひまわり亭」「食・農・人総合研究所リュウキンカの郷」現地視察</li> <li>・本田節代表による事業概要説明について</li> </ul> <p>【所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本田節氏の取組みは、地域活性化をはじめ中山間地域の女性の活躍の場を広げ地域に根ざした取り組みと感じた。本田氏の長年の取組みの結果と思われるが、行政に頼らず自分の出資で女性活躍の事業として確立したことは多いに参考となった。岩手にも縁があるようで今後の更なる活躍を期待したい。</li> </ul>
【添付資料】	有り

## 鹿児島市視察報告書

報告者 盛岡市議会議員 中野孝之助

- 1 日 時 令和元年 5 月 8 日(水)15:00~16:30
- 2 場 所 鹿児島市役所
- 3 対応者 鹿児島市議会 山口たけし 議長  
鹿児島市議会事務局 [REDACTED] 主事  
鹿児島市観光交流局観光交流部参事  
グリーンツーリズム推進課 三浦健太郎 課長
- 4 視察項目 観光農業公園の運営について
- 5 視察内容

### (1) 鹿児島市概要

- ・市制施行 明治 22 年 4 月 1 日
- ・人口 595,787 人
- ・議員定数 50 人

### (2) 鹿児島市事業概要説明要旨

- ・平成 16 年に周辺 5 町と合併し、都市住民と農村地域における交流促進を図るため、観光農業公園（グリーンファーム）を整備した。
- ・事業概要は、平成 24 年開業、総事業費 36 億円、施設面積 41.3ha。
- ・基本コンセプトとして、地域交流ゾーン、体験学習ゾーン、民間参画ゾーンの 3 つからなっている。
- ・体験学習ゾーンは、体験用農地、産直館、農園レストラン、キャンプ場などで構成されている。
- ・地域交流ゾーンは、ワークショップを行える交流体験館、宿泊できる滞在型市民農園などで構成されている。
- ・民間参画ゾーンは、民間事業者に農地を貸し出し、作物生産をしているもの。
- ・農業体験のプログラムを用意し、指導員を 9 名配置し事業を実施している。
- ・この施設は、市の直営施設である。入園料は無料。市職員 5 名、嘱託職員 15 名、臨時職員 7 名で運営している。
- ・収支状況は、歳入が約 2000 万円、歳出は約 1 億 5300 万円。
- ・利用状況は、後援利用者数が平成 29 年度で 18 万 2100 人。体験者数は 3 万 5840 人。1 日約 100 人の利用者。

### (3) 質疑

浅沼議員 滞在型の20区画は、どういう人が利用しているか。

<回答> 全20区画のうち、平成31年は16区画7割が市内の人。家庭菜園として利用している。残りは県外の法人。福利厚生に利用している。

浅沼議員 作物はちゃんと作れているのか。

<回答> 指導員、農業技士が指導している。機械も無料で貸している。

浅沼議員 その人たちのその後はどうしているか。波及効果は。

<回答> 農業就農の人はいない。

菊田議員 素晴らしい施設。水田はないのか。7年で1億3千万円の赤字について、市議会の反応はどうか。

<回答> 水田もあります。田植えなどは近隣農家に頼んで体験している。市議会では、利用者数を聞かれる。目標を立て進めている。経費については、公共施設の役割をどう考えるか、体験施設という位置づけ。今後課題になると考える。

菊田議員 施設は良いものだが、入園料を値上げすることは考えているか。公共はどこまでが責任か。

<回答> 今、新しいプログラムを作って、値上げのタイミングを検討している。キャンプ、バンガローの収入を増収したい。オートキャンプ場の増設も考えている。

宮川議員 実践的体験施設としては良いと思った。いろんなヒントがあった。民間参入者の収入状況はどうか。運営協議会の中で経営についての議論はしているのか。

<回答> 直売所、レストランは電気代と賃料しかもらっていないが、年間20万人の入場者では苦しいようだ。平日はお昼のみの営業など苦勞している。

協議会では、いかに子供に来てもらうかがターゲット。先日の10連休は7勝3敗。雨の日が成績が悪かった。1日1千人のところ2千人も来た。イベントを仕組むと確実に来場者は増加している。

宮川議員 指定管理者制度の導入と民間の関係はどうなっているのか。

<回答> 民間貸し出しの土地とグリーンファームは別施設。

田山議員 インバウンドの詳細はどうなっているか。

<回答> 二次アクセスは悪いが、ネットで見て車で来る例もある。果樹は人気がある。外国人が来る。SNSで発信するのは有効。必要。農家民泊80軒、農家民宿15軒がある。しかし、グリーンツーリズムの見通しは苦しい。

竹田議員 地域協力隊員について、何を期待しているのか。今、何に取り組んでいるのか。

<回答> 鹿児島県内では、鹿児島市は地域協力隊員への取り組みは遅いほう。グリーンファームの職員として採用した。仕事の中身は、採用時から決めている。地域との協働の橋渡し役を担ってもらっている。地域の人に大人気で、採用から5か月たった。

## 6 まとめ

平成16年に周辺5町と合併をしたことにより、旧市街地の住民と、新住民の交流の場をと整備したのが、観光農業公園（グリーンファーム）である。類似施設と違い、鹿児島市の直営施設になっており、相当な力を入れている。整備費が36億円と、相当な金額規模であり、施設を維持していくには、鹿児島市内からなどの二次交通の確保など、それなりの苦勞があることも分かった。

施設の入場料は無料とのことで、施設の収支は年間1億3千万の赤字になっている。対策を聞いたが、合併の必要経費的な考え方を持っているようで、今後対策を検討すると、あまり焦りはないようである。盛岡市と会計規模の違いから、そういう発想が出るのかもしれない。

海外観光客にはSNSなどの情報発信が、やはり効果的であるとの示唆をいただいた。

鹿児島市役所御担当の熱意に触れ、視察を受けていただいたことに感謝申し上げます。

## 熊本県人吉市視察 報告

視察日：令和元年 5 月 9 日（木）10：30～11：50

視察先：人吉市役所 3 階 議員控室

人吉市議会事務局長 山本繁美氏から挨拶

健康福祉部高齢者支援課 隅田 節子課長

同 課元気・長生き係 [REDACTED] 係長 から説明

視察内容：

高齢者施策について

説明内容：

人吉市の人口 32,309 人 65 歳以上 11,565 人 高齢化率 35.79%

(盛岡市 人口 288,816 人 65 歳以上 78,145 人 高齢化率 27.05%)

高齢化率が平成 24 年度から 30%超、令和 7 年度には 39.3%の見込み、今が高齢者施策の踏ん張り所、様々な取組みを行っている。

人吉市いきいき健康高齢プラン 第 7 期介護保険事業計画・高齢者福祉計画  
基本目標 2 認知症になっても安心して暮らせる体制の構築において地域ネットワーク等の介護体制の整備を掲げているが、市として地域のネットワーク、見守りに力を入れて取組みを進めている所である。取組みとして

ひとよし SOS キーホルダー

平成 24 年 3 月開始、

対象：65 歳以上の希望者、65 歳以下で障がい者、市長が認める者

内容：申請者の番号が印字したキーホルダーを 2 個配布、外出時に持ち歩くものに身に付けておく、認知症や体調不良で意思疎通が困難な場合は周りの方が市にキーホルダーの番号を連絡することで、本人確認がスムーズに行える。

予算：介護保険事業費補助金、介護保険特別会計地域支援事業

配布個数：4,210 人（高齢者所持率 36.4%）

自己負担無料

課題：住民異動情報と連動していないので、変更情報の更新が出来ない（3 年に 1 度情報更新を実施しているが、その間の変更申請が少ない）。

休日、夜間の対応。SOS キーホルダーの認知。

その他、コンビニエンスストアとの見守り協定締結、高齢者見守りネットワーク事業を行っている。

主な質疑

Q 認知症グループホームは？ A 市内に 4 か所ある。



Q施設利用者もSOSキーホルダー利用可能か？ A施設利用者も外出等あるので、施設で申請、所有しているケースもある。

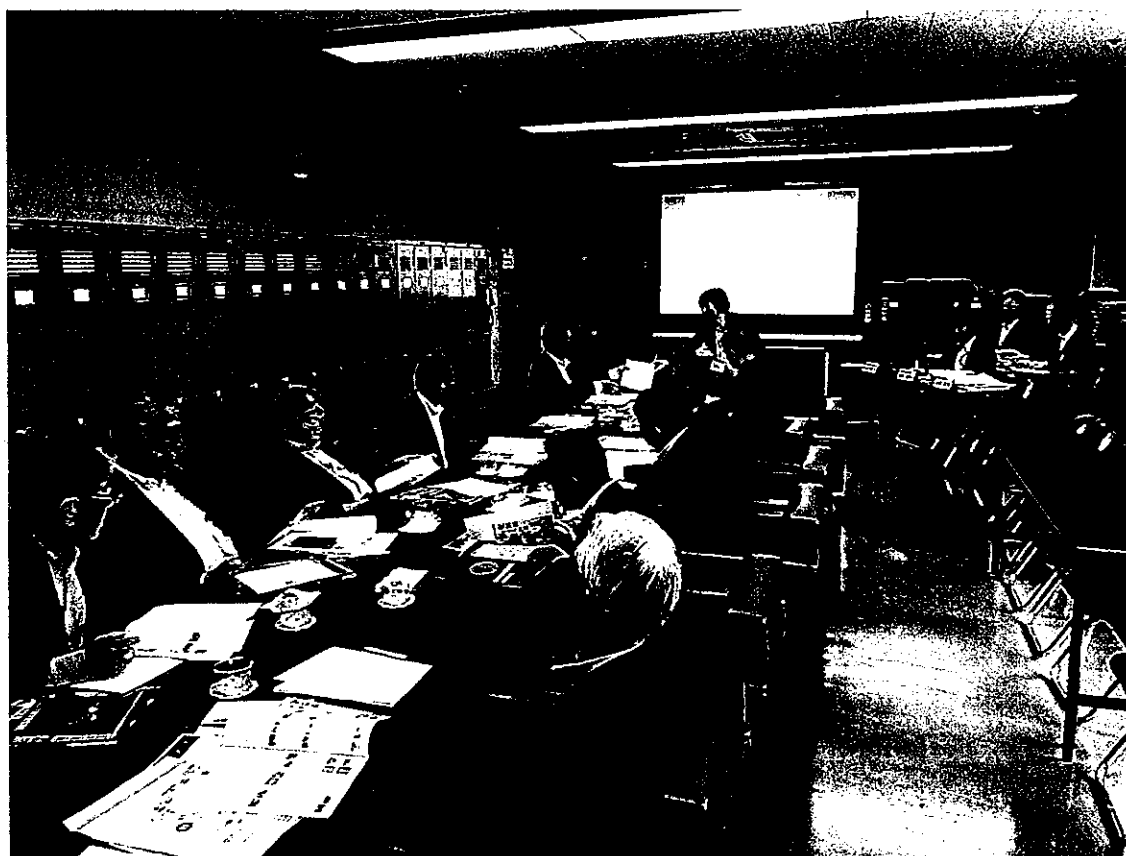
Q所有率50%を目標としているが、上げるための取組みは？ A民生委員や見守りなどの福祉関係者などに周知を広げている。

QSOSキーホルダーを含め独り暮らし、高齢者夫婦の支援は地域を挙げて行うことが必要と思うが、人吉市の取組みは？ A小地域ネットワークに取り組んでいるがキーホルダー利用者への話に行く、見守りをするきっかけになっている。

Qコンビニとの協定や認知症サポーターの企業向けなどどの様に取り組んでいるか？ A企業に対して情報提供、共有などを通じて認知症の理解、支援に努めている

Q個人情報への対応は A限られた範囲で市の管理のもと行っているが、細かい取組みなどは今後の課題と思っている。

Q家族への支援などは？ A訪問時などの相談や介護者家族会や認知症カフェの開催を通じて話をするなどの実施している。





— 地方自治 —

自治体行政の発展と市民生活の向上

1. 概要

2. 財政

3. 建設

4. 福祉

5. 教育

6. 環境


7. 産業

8. 交通

9. 防災

10. その他

平成30年度  
人吉市概要



熊本県人吉市議会

人口 32,305

男性	11,565
女性	20,740
合計	32,305

## 視察報告書

文責 浅沼克人

- ① 日時 平成31年5月9日(木) 12:30~15:00
- ② 場所 熊本県人吉市 ひまわり亭  
熊本県あさぎり町 リュウキンカの郷
- ③ 視察項目 地域活性化の取組と農山村漁村の女性の自立について
- ④ 担当者 (有)ひまわり亭 代表取締役 本田 節 氏
- ⑤ 概要

### イ) 背景

少子高齢化、人口減少、担い手不足、産業低迷、財力不足、社会福祉低下、自然災害多発などの地域課題解決のために、主婦として何かをしたいというところから始まっている。特に主婦は「食」についての関わりが多いことから、「食で繋げる、ひと・まち・くらし」をテーマに事業展開している。

### ロ) 取組

弁当、農家レストラン、郷土料理伝承塾、レシピ本作成、食を通じた地元情報発信、各種合宿研修、地域コーディネーター育成、泊食分離で観光地域づくり、10市町村ネットワークづくり、グリーンツーリズム推進、ムラたびカレッジ、ヨーロッパ研修参加など。

### ハ) 質問

Q: 財務状況や給与などは。

A: きちんとできている。全員平等に適正な賃金を支払っている。

Q: 農泊料金の設定は。

A: 今までは1泊2日で8,000円であった。これからは広域の協議会を法人化し、専門サイトを委託運営するため、1泊2日で1万円。

Q: 宿泊受け入れの環境整備は。

A: 1~2年間で全ての宿泊先に外国人向けのWi-Fi、キャッシュレス、トイレ、寝具などを整備予定。

Q: 海外研修により学んだことは。

A: 施設のクオリティが高いが、交流がない。日本型ツーリズムは地域との交流を入れるべき。かつ、農家民泊をするなら主婦の負担を考え、食事は別の場所で提供する泊食分離を進めるべき。

### ⑥ まとめ

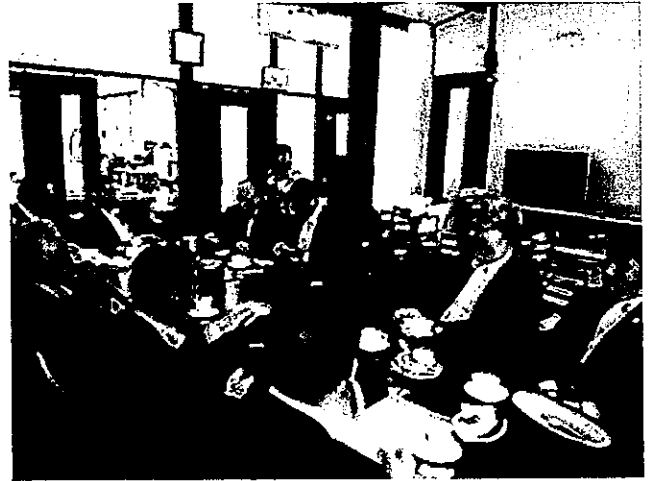
実際に地域で活動してきた経験に基づく内容であったので、地域活性化のヒントになる要素は多くあった。しかし、そのまま同じことをしても上手くいくとは限らず、地域に根差した文化や暮らし、人々の繋がりなどの真似で

きない独自の強みこそが成功の秘訣と感じられた。

また、常に「学び直し」を継続しながら、新しいことに挑戦していく雰囲気は一朝一夕にはできないだろうし、10市町村のメンバーの連携も多くの積み重ねがあつてのことだろうと思われる。やはり20年を越える取り組みの結果がここにはある。

このように、10年20年さらには何十年も先も見越し、意義と価値を明確化し、仲間との合意形成を図り、行政に頼らず、自ら出資して、ビジネスとして自立していくことが継続性を生み出し、地域活性化や女性活躍の事業としての成功を生み出す鍵であると言える。

今後は後継者育成が重要であり、本田さんに代わる若手リーダーが存分に手腕を発揮できるかにかかっている。ここでは2年前に施設整備した合宿研修所がその役割を果たすものと期待されており、これからの展開に注目したい。



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1. 11. 3
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	6,436	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	27分の2	
政務活動費支出金額	477	円

【支払概要】 盛友会 R1. 11. 5~7 湯沢・山形・秋田行政視察  
 視察先手土産 ※ 領収書原本は大石議員保管  
 参加議員14名で案分 (3日目の秋田視察不参加の議員1名は半額計上)  
 477円×13名=6,201円 238円×1名=238円 計6,439円 ※ 端数3円は大石議員から減算  
 参加議員  
 竹田浩久、村田芳三 (3日目不参加)、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、  
 中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、小笠原秀夫

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

0000-9837

2019年11月 3日 曜日

盛友会 領収証 様

¥6,436-

(消費税 ¥476) 軽減税率対象

但し、お支払いは  
 老舗白沢せんべい店株式会社

盛岡市紺屋町2-16  
 TEL 019-622-7224

担当者 

\*保管上のお願  
 財布等で保管する場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

領収証No 2348

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.11.5
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	6,500	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	6,500	円
【支払概要】 盛友会 R1.11.5~7 湯沢・山形・秋田行政視察 11月5日 山形市宿泊代 コンフォートホテル山形		

領収書等添付欄	別紙に添付
---------	-------

**領 収 書**  
Receipt

NOG 1703818

盛友会 竹田 浩久 様

収入印紙

<b>金額</b>		百万		千	円		
				¥ 6	5	0	0 ※

内消費税 ¥591~

但し 5% ~ 1泊 ご宿泊代として

西暦 2019 年 11 月 5 日

上記正に領収いたしました。

**コンフォートホテル山形**  
 〒990-0039 山形県山形市巻笠町1丁目3-12  
 TEL 023-615-4122  
 FAX 023-615-4118

01.11.05  
 領収印  
 コンフォートホテル山形

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	クレジット
<input type="checkbox"/>	クーポン
<input checked="" type="checkbox"/>	宿泊料
<input type="checkbox"/>	食事代
<input type="checkbox"/>	電話料
<input type="checkbox"/>	駐車料
<input type="checkbox"/>	会議室料
<input type="checkbox"/>	売掛金

発行店

株式会社 **グリーンズ** 三重県四日市市鶴の森1-4-28 ユマニテクプラザ5階  
 〒510-0074 Tel. 059-351-5593(代)

扱  
者

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1. 11. 6
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	8,320	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	8,320	円
<b>【支払概要】</b> 盛友会 R1. 11. 5~7 湯沢・山形・秋田行政視察 11月6日 秋田市宿泊代 ダイワロイネットホテル秋田		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書

盛岡市議会 盛友会

№ 186970

竹田浩久 様

金額

¥ 8 3 2 0 ※

※金額を訂正したものは無効です

但し  ご宿泊代  駐車場代  その他 \_\_\_\_\_ として  
 上記の金額正に領収致しました

ダイワロイヤル株式会社  
 ダイワロイネットホテル秋田  
 〒010-0921 秋田県秋田市大町2丁目2-41  
 Tel 018-883-0500 Fax 018-883-0522

収入印紙

2019年 11月 6日

現金(¥ 8,320-)  クレジット(¥ )

発 行 者

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.11.14
------	-------	-----	----------

支出証拠書類の額面金額	320,260	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	41分の3	
政務活動費支出金額	23,434	円

<p>【支払概要】</p> <p>盛友会 R1.11.5~7 湯沢・山形・秋田行政視察</p> <p>貸切バス代(319,710円)および振込手数料(550円) ※ 領収書原本は大石議員保管</p> <p>参加議員14名で案分 (3日目の秋田視察不参加の議員1名は3分の2を計上)</p> <p>23,434円×13名=304,642円 15,622円×1名=15,622円 計320,264円</p> <p>参加議員 ※ 端数4円は大石議員から減算</p> <p>竹田浩久、村田芳三 (3日目不参加)、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、大石仁雄、小笠原秀夫</p>
--

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---



領 収 証

盛友会 様

No. 056630

2019年11月19日

¥ 319,710

(現金) (振込) (小切手) (手形) (クレジット)

内 容	種 目	運行(発生)年月日	行先(又は品名)	内 容
	貸切バス代	R元11.5~7	山形 秋田	

上記金額正に領収致しました。



岩手県盛岡市厨川1-17-1  
岩手県北自動車株式会社  
盛岡営業所 所長 八木 淳



\*金額訂正又は署名印なきものは無効

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

預金払戻請求書 による 振込受付書 (兼振込手数料受取書)

預金口座振替 ※預金払戻請求書・口座振替により受付した場合、表題欄に○を表示します。

ご依頼日 (和暦) 年 月 日  
2019 11 19

お振込先  
フリガナ イワテケンキョウ自動車株式会社  
フリガナ カガシキカイセイゴウ  
お受取人 岩手県北自動車株式会社 様  
フリガナ カガシキカイセイゴウ  
ご依頼人 盛岡市議会盛友会 様  
おなまえ 漢字 盛岡市議会盛友会 様  
おなまえ フリガナ 盛岡市内丸12-2

支店 本店

振込金額 7064705  
手数料(別振替) 530  
合計金額 7064705 + 530 = 7065235

お振込みは早くて便利なATMをご利用ください。手数料がお得です。

注意

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延したり、振込ができないことがあります。
- やむをえない事由による送信機器、回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。
- この振込金受取書は、ご依頼人が大切に保管してください。

北日本銀行  
香町支店



## 視察等概要書

議員氏名 竹田 浩久

会派名	盛友会
実施日	令和元年11月5日(火)
参加者	大石仁雄、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫 計14名
視察先および調査項目	秋田県湯沢市 ・ゆざわ発新しい働き方推進事業について ・温泉熱や地熱温水の利活用事業について
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>ゆざわ発新しい働き方推進事業について クラウドソーシングの導入支援事業を展開。</li><li>温泉熱や地熱温水の利活用事業について (1) 地熱利用農産加工所 … 地熱水による農産物乾燥・加工施設 (2) 地熱温水利用温室 … 地熱を活用した周年農業実証施設</li></ol> <p>【所感】</p> <p>国の地方創生事業を活用した働き方推進事業であったが多くの課題もあったようだ。地域の環境や特性など十分考慮する必要を感じた視察であった。</p> <p>地熱や温泉熱の農業への活用は非常に難しい。しかしながら冬季の収入確保策としては有効であり、課題はコスト削減である。温泉施設を抱える盛岡市としても、今後とも各地の取組みを注視する必要があると思われる。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹 田 浩 久

会派名	盛友会
実施日	令和元年11月6日(水)
参加者	大石仁雄、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、 後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、 田山俊悦、小笠原秀夫 計14名
視察先および 調査項目	山形県山形市 ・旅籠町にぎわい拠点「gura」について
視察の概要 および所感	<p>【視察概要】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 山形中心市街地活性化の取組み 紅の蔵、山形まなび館、七日町御殿堰などの新設や、とんがりビル、guraなどのリノベーション物件による活性化事業を展開。</li><li>2. 旅籠町にぎわい拠点「gura」 市所有地に立地の建造物をリノベーションして、商業施設を展開。</li></ol> <p>【所感】</p> <p>山形市は盛岡市と共通する課題を抱えていると思われる。 山形市の取組みは、盛岡市としても参考になる点が多い。 東北各地の街づくりを今後とも連携を取りながら注視する必要があると思われる。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹田 浩久

会派名	盛友会
実施日	令和元年11月7日(木)
参加者	大石仁雄、竹田浩久、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫 計13名
視察先および調査項目	秋田県秋田市 ・秋田市役所新庁舎建設事業について
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <p>1. 視察項目 秋田市役所新庁舎施設見学</p> <p>2. ヒアリング</p> <p>(1) 庁舎建設の経緯説明</p> <p>(2) 市庁舎建設のコンセプト 市民サービス向上、防災拠点としての位置づけ、地域性の創出環境との共生、今ある資産の有効活用</p> <p>【所感】</p> <p>秋田市の庁舎建設は、基金積み立て年約4億円、合併特例債の活用、広い市有地の活用など、現在の盛岡市の置かれている状況とはかなり異なると思われる。財政面での課題はもとより様々な課題はあるが、防災拠点や危機管理の面でも現在の庁舎は不安がある。1日も早く庁舎建設の方向性が見出せればと強く感じた視察であった。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹 田 浩 久

<p>会派名</p>	<p>盛友会</p>
<p>実 施 日</p>	<p>令和元年11月7日(木)</p>
<p>参 加 者</p>	<p>大石仁雄、竹田浩久、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、後藤百合子、櫻裕子、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫 計13名</p>
<p>視察先および 調査項目</p>	<p>秋田県秋田市 ・秋田市総合環境センターについて</p>
<p>視察の概要 および所感</p>	<p>【視察概要】</p> <p>1. 視察項目 秋田市内のごみの処理全般についてヒアリング</p> <p>2. 視察内容 (1) ビデオにて総合環境センター概要説明 (2) 現地見学視察 プラットフォーム、中央管制室(ごみピット)、溶融炉、発電施設</p> <p>【所感】 広域処理施設建設でいまだ建設地が決定しない盛岡市であるが、秋田市は過去を含めて大きな問題はなかったようである。郊外にあるが地元との関係も良好のようである。1日も早い建設地決定が望まれる。処理方式は溶融炉方式であったが、方式の決定にあたっては充分検討されることを望みたい。滝沢市も溶融炉方式だと思われるが視察した限りでは溶融炉方式がいいのではと感じた。</p>
<p>【添付資料】</p>	<p>参加者により共同作成した報告書</p>

## 視察報告書

文責 小笠原秀夫

- ① 日時 令和元年11月5日
- ② 秋田県湯沢市 湯沢市役所
- ③ 視察項目 ・ゆざわ発新しい働き方推進事業について  
・温泉熱や地熱温水の利活用事業について
- ④ 対応者 湯沢市議会 佐藤功平 議長  
湯沢市産業振興部 商工課長 高橋優功氏  
湯沢市産業振興部 農林課農業振興班長 [REDACTED] 氏
- ⑤ 概要

### (1) ゆざわ発新しい働き方推進事業について

専門性の高い人材育成・多様な就労機会の創出・市民所得の向上を目的として、平成27年度から平成30年度まで本事業を実施した。

総事業費は179,651,240円、財源は地方創生先行型交付金102,029,000円、過疎地域等自立活性化交付金10,000,000円、一般財源から約6,700万円となっている。

事業内容として、クラウドソーシングの導入支援事業を主催した。

クラウドソーシング普及啓発・ワーカー育成・ワーカースキルアップ・ワーカーコミュニティ支援等を行った結果、実績として育成ワーカー148人、うち実際にクラウドソーシングを活用したワーカー123人、うち継続的にクラウドソーシングを活用しているワーカー38人となっている。

#### ・事業の効果

- ① 専門性の高い人材の育成・・・効果がなかった
- ② 多様な就労機会の創出・・・ある程度の効果があった
- ③ 市民の所得向上・・・効果がなかった

#### ・質疑

Q：育成ワーカー148人、活用したワーカー123人、継続的に活動しているワーカー38人と減っているが要因は何か？

A：地域性もあるだろうし、もともとクラウドソーシングは独自にできるものなので、この事業がなくてもやっている人がいるのだろう。

Q：発注する事業者や仕事内容については？

A：継続しては発注する事業者は7社、仕事内容は文字おこしなど簡単な作業が多い。

Q：目標設定はどうだったか？議会の評価はどうだったか？

A：セミナーを受けた人のうち実際に活用した人の目標を60%と設定

したが、148人中123人と行くことでこれは達成した。継続的に活用する人数を35%に設定したが38人/148人で達成できなかった。議会からの評価はこの事業については直接なかった。

Q：発注者と受注者間において品質等の面でトラブルはなかったか？

A：支援事業者がワーカーのスキルに応じて仕事を紹介し、成果物についても最終チェックを行ったため、大きなトラブルはなかった。

Q：委託事業者は地元事業者か？

A：最初の3年間は㈱パソナテックで最後の1年は山形に本社を置き、湯沢市内にオフィスを持つTソリューションズ㈱であった。

Q：この事業を始めたきっかけは？

A：国の地方創生政策・補助金に、当時の副市長が意欲を示した。

Q：継続的に活用している38人の動向は？

A：安定的に稼いでいる人は少ない。稼いでいる人はもともとスキルのある人だった。

## (2) 温泉熱や地熱温水の利活用事業について

### ① 湯沢市皆瀬地熱利用農産加工所

産地間競争に打ち勝つ農産物を地熱水により乾燥・加工等を行い、経営基盤の確立と市場の確保を図る目的で行われている。

昭和55年12月に竣工し、事業費は国庫補助金30,202千円、旧皆瀬村負担33,856千円、計64,058千円。運営は皆瀬農産加工所利用組合が行っており、平成23年度からは指定管理制度が導入されている。

利用組合はもともとあった複数の農家の女性グループと施設利用者を再編し、地域における域外の場としても重要なものとなっている。

主な加工物は「切り干し大根」等で道の駅などで販売されている。

加工所の利用率は約90%で切り干し大根の時期である冬場の利用が多い。

### ② 湯沢市皆瀬地熱温水利用温室

昭和60年3月に竣工し、事業費は135,000千円で皆瀬村農協が主体。国費は二分の一。栽培作物はみつば・小ネギ・トマト。

ローソンと共同で平成26年度から平成29年度まで「地熱活用低コスト型周年農業実証を実施した。

実証の結果、ハウス内の気温、地温とも温度差が大きく、特に冬場は効果がみられる。しかし初期費用が高額となるため、他の手段と比較しての有効性には疑問が残る結果となった。

トマト以外にもパクチー・ミント・クレソン・バジル・サンチュ・ほうれん草・春菊など、試験栽培を行ったが、冬期間の日照不足やハウス内温度の調整の困難さ、流通コストの負担の大きさなど、課題が多い。

質疑

Q：トマトの味の評価は？

A：悪くはないが高い評価でもなかった。

Q：収穫量と出荷量のギャップが大きい要因は？

A：収穫量に対して販売先・需要が少なかった。冬季の生産実証だったので、販売先まで考慮していなかった。

等々

### (3) まとめ

働き方推進事業については、多額の税金を投入して行われた事業であったが、得られた効果については疑問が残るものであったと言わざるを得ない。

このような事業の際には綿密な市場調査、市民のニーズ調査等が行われ、さらに計画の実施後も定期的に効果の測定や見直しを行わなければならないと思いました。

温泉熱や地熱温水の利活用事業についても、実証によって得られた結果を十二分に研究・活用し、市民の所得向上や生産性の向上につなげられるよう努力されなければならないと強く感じました。





## 山形市視察報告書

1. 日時 ・ 令和元年 11 月 6 日 (水) 10:30~12:30
2. 場所 ・ 旅籠町にぎわい拠点「gura」(ぐら)
3. 視察項目 ・ 山形中心市街地活性化の取組みについて  
・ 旅籠町にぎわい拠点「gura」による地域活性化について
4. 対応者 ・ 山形市商工観光部山形ブランド推進課  
主幹 街なか・商業グループリーダー 池野 晃央氏  
・ 株式会社旅籠町開発 代表取締役 後藤 寛典氏

### 5. 視察内容

- (1) 山形中心市街地活性化の取組み … 山形市ブランド推進課 池野晃央氏

#### ①山形市の特徴

- ・ 人口 249,743 人、面積 381.58 km<sup>2</sup>、明治 22 年市制施行 (130 周年)
- ・ 山形市は、最上川の舟運により発達した蔵の街。中心市街地を流れる 5 つの堰が特徴である。
- ・ やまがた舞子が市内 4 カ所の料亭を中心にお座敷を彩っている。

#### ②課題

- ・ 市内の北部、南部に、イオンやコストコといった大型店が立地しているほか、仙台まで約 60 km (車で約 1 時間) と近接し、1 日に約 80 往復の高速バスが走っていることもあり、中心市街地の空洞化が深刻である。



#### ③中心市街地活性化基本計画による取組み

- ・ 第 1 期 (平成 20 年 11 月~26 年 10 月)  
山形まるごと館「紅の蔵」、山形まなび館、七日町御殿堰、という 3 つの新名所づくりを中心に、活性化を図った
- ・ 第 2 期 (平成 26 年 11 月~令和 2 年 3 月)  
「歴史や文化を活かした、山形の魅力あふれるまちづくり」をテーマに、とんがりビルや gura などのリノベーション物件による活性化や、街なか出店サポート事業、街なか情報発信事業を展開している。



(2) 旅籠町にぎわい拠点「gura」 … ㈱旅籠町開発 後藤 寛典氏

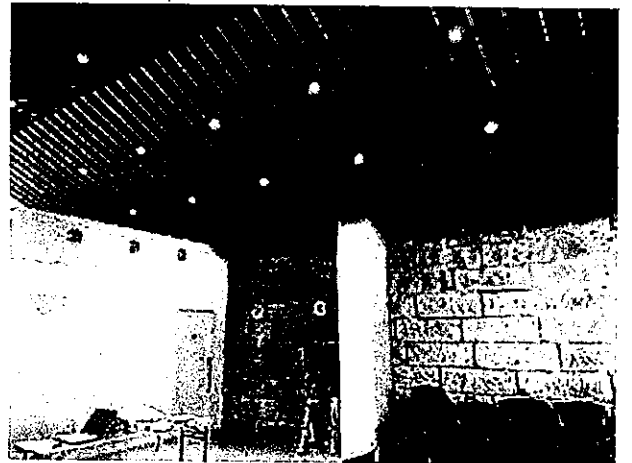
①施設概要

- ・平成 29 年にプロジェクトがスタートし、30 年 3 月にオープン。
- ・市所有地に立地している石造りの建造物をリノベーションして、商業施設を展開。敷地の公園スペースと相俟って、街なかの活動空間、癒し空間を創出している。
- ・事業は、レストラン、クラフトストア、貸しホール・広場を運営。マルシェ・フリーマーケット・移動販売・ウェディングなど、多様なイベントで利用されている。

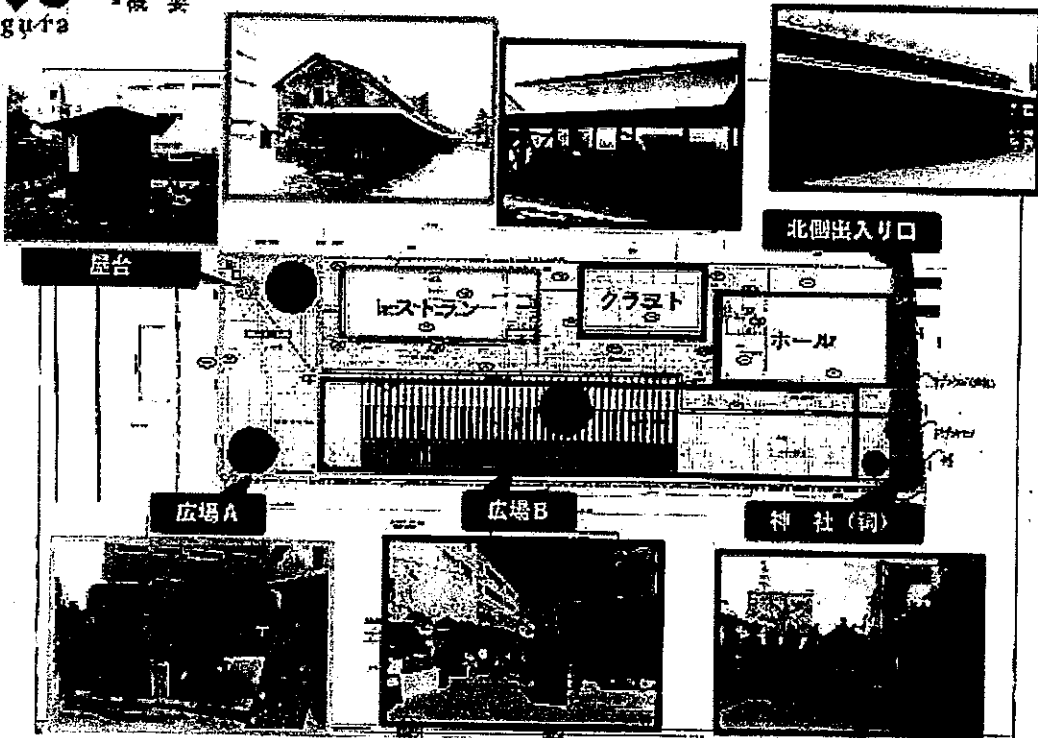


②こだわり

- ・マネジメントは、山形建設㈱、山形パナソニック㈱から集結。プロジェクトには、建設、デザイン、クラフト、企画、マネジメントなど、各専門分野のクリエイターの協力によりプロデュース。
- ・レストランの食材は地元産品が中心。山形県内農家と提携し、付加価値の高い料理を提供している。
- ・クラフトストアは、山形の伝統工芸品、日用品に伝統工芸の技術を取り入れた商品などを展示販売しているほか、来店客向けのワークショップも行っている。



概要



- ・貸しホールは、石蔵の重厚感のある雰囲気を残しており、各種イベントに活用されている。

## (2) 質疑応答

### 【中心市街地】

- Q：中心市街地のゾーニング、グランドデザインについては、具体的に市民にもわかりやすいマップ等で示されているか。
- A：市のHPに公開し、わかりやすく表現している。ほか、エリアマネジメントを行い、新規出店等の際には、街のゾーニングに基づき、出店業種に即して、ふさわしい出店場所の誘導を行っている。
- Q：老舗百貨店大沼についての影響は。
- A：ファンド会社の経営不振に影響された面はあったものの、催事を行うと、相応の集客が確保できている。
- Q：中心市街地の活性化計画の成果指標である、歩行者・自転車通行量、街なか観光客入込数を、どのように把握しているか。
- A：歩行者・自転車通行量は、とある土・日に実測し、その2日間の平均値を算出している。街なか観光客入込数は、主な商業施設のレジ打込件数や、観光施設の入場者数を基礎データとして算出している。
- Q：ふるさと納税は、地元経済に寄与しているか。
- A：ふるさと納税の返礼品としては、地元の大沼経由のものがそれほど多くなく、寄与度は低いものと認識している。
- Q：街なかイベント開催に関し、工夫していることは。
- A：山形エリアマネジメント協議会を設立し、街なかイベントを同日、同時期に開催するよう調整を行っている。近年の道路改修により、歩行者天国にしやすい道路網が整った。

### 【gura】

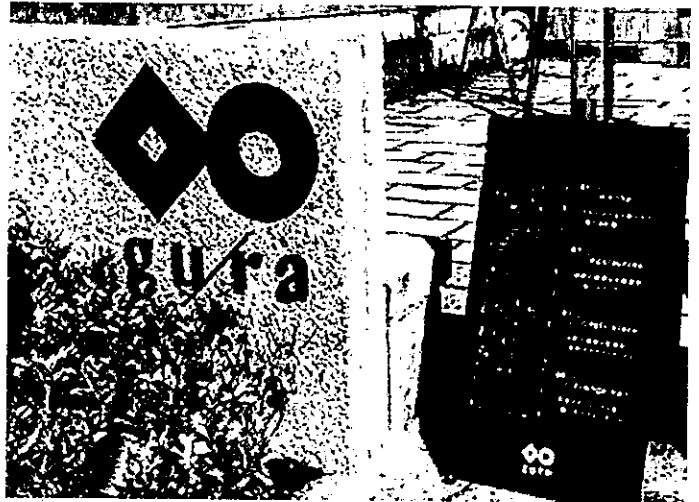
- Q：市からの土地賃貸料は
- A：いわゆる使用貸借であり、無料である。
- Q：各クリエイターは、こういった場面で関与しているか。
- A：東北芸術工科大学（本部：山形市）とアドバイザー契約を締結し、同大学の橋渡しにより、各専門分野のクリエイターを集結させた。その多くはイニシャル契約（立ち上げまでの場面）であるが、ブランディングを担っている土屋勇太氏のみ、ランニング契約を交わし、都度都度関与してもらっている。
- Q：貸しホール・広場の利用料は
- A：多目的ホールは平日 1,000 円/h、土日 2,000 円/h、広場は 1 日 100 千円。ほか、機材貸出料を別途設定している。
- Q：広報PRはどのように行っているか。
- A：雑誌等のメディアも若干活用しているが、インスタグラム、LINE、フェイスブックなどのSNSによる発信を中心に行っている。

Q：施設の名称、ロゴマークの意味は。

A：蔵を活用していることから、グラ。  
グラッと心を揺さぶる、という意味も含めている。ロゴマークは、蔵の文様をモチーフとしている。

Q：レストランのメインターゲットをどのように設定しているか。

A：昼食タイムは、もともとビジネス層を狙っていたが、結果的に女性層が圧倒的である。夜は、地元のビジネス層が多く、宴会などでも利用されている。



Q：雪対策はどのように行っているか

A：雪についてはそのまま、自然対応。子どもたちが喜ぶほか、インバウンド対応としても有効である。

Q：山形市は、この事業にどのように関わっているか。

A：市は地主であるものの、事業展開は事業者任せにしている。むしろ、市の行事でも活用してもらっている「ユーザー」である。

### (3) まとめ

山形市の商業環境は、大型店が近接し、かつ仙台との往復も便利であることから、市街地の空洞化に対する危機意識が強い。これに対し、地元の歴史や文化、伝統を活かした街づくりを行っているという点では、盛岡と共通しているが、決定的に異なるのは、エリアマネジメントが確立しているということである。中心市街地エリアにおけるゾーンの性格付けを明示しながら、エリアマネージャーが緩やかに業種誘導を行うなかで、ゾーン別の個性を最大限に発揮させながら、中心市街地の魅力を創出させようという姿勢が明確になっている。

また、リノベーションによる活性化についても取組みを推進しており、元々の地元の財産を壊すことなく、これを街の個性としてどのように発信するか、という点も工夫しているほか、必要な場面にはその道のプロにも関与してもらいながら、街の魅力に磨きをかけているという様子が窺える。

盛岡の中心市街地においても、民間の活力をいかに有効に活用するか、リノベーション等による、既存の財産を活かすまちづくりをどのように進めるかを、さらに推進していく時期ではないか。そして、エリアマネジメントの考え方を導入し、エリアの個性を発揮させ、それぞれが連携するなかで、街の総合力を発信していくことも必要と感じたところであった。



## 秋田市①視察報告

視察日：令和元年11月7日（木）10：00～11：50

視察先：秋田市役所（秋田市山王一丁目1-1）

秋田市議会事務局議事課 関課長から挨拶

同 議事課調査担当 [ ] 主査 対応

秋田市総務部財産管理活用課 [ ] 主査、[ ] 主査 から説明

視察内容：新庁舎建設事業について

秋田市：人口305,944人、世帯数135,822世帯（H31.4.1現在）

H9.4中核市移行、H17.1河辺町、雄和町と合併

説明内容：

旧庁舎 - 昭和39年建設

新庁舎整備検討

- ・昭和63年秋田市庁舎建設準備委員会設置（庁舎狭隘化解消のため）
- ・平成3年庁舎建設基金条例を設定

第二庁舎案検討（H4、H5）→新庁舎建設検討（H6～H10）→・新庁舎建設方針の見直しを表明（H11、厳しい財政事情を勘案）

現庁舎における来庁市民の利便性向上対策（H12、H13）→現庁舎の延命化対策（H13～H17）→建設の具体的検討（H20）→庁舎建設計画の再検討（H21）※市民100人会および公募により庁舎整備の方向性に関する意見を募集（66件）→庁舎整備方針の決定（H22）6月議会で市長が新庁舎建設を表明、基本構想の策定→庁舎建設設計（H23、H24）→建設工事の入札（H25）3回の入札を経て115億9,000万円で落札→建設工事（H25～H28）→準備移転（H28）→旧庁舎解体（H27～H29）

事業費

庁舎建設事業費	財源内容
本体工事・関連工事 約137億円	社会資本整備総合交付金 約4億円
備品・移転費用等 約9億円	庁舎建設基金（H3～積立）約81億円
	合併特例債（H17 2町と）約53億円
	一般財源 約8億円
計 約146億円	計 約146億円

新庁舎5つのコンセプト

- 1 市民に親しまれ、市民サービスの向上を表現する、人にやさしい庁舎  
⇒①1,2階に窓口を集約、利便性の向上を目指す。②外部にあった農林部、環境部を集約した。③市民が利用する貸出施設、子育て交流ひろばなど

2 防災拠点施設となる、安全・安心な庁舎

⇒①災害対策本部機能（大型モニター、専用通信機器類を設置した災害対策本部室、非常用食料等の備蓄）②避難所機能

3 環境共生へ取り組む、地球にやさしい庁舎

⇒①6階までの吹抜け空間を利用した自然採光、②太陽光や地中熱など再生可能エネルギーの活用

4 秋田の地域性を生かし、周辺環境と調和した庁舎

⇒秋田杉の活用

5 今ある資産を活用し、長く使い続けられる庁舎

主な質疑

Q 新庁舎移転に伴う土地代はかかっているか

A 秋田市の土地であり、土地代はかかっている

Q 基金について、平成3年から積み立てをしているが年間4億円程度か

A その年によって異なることもあったが、約20年で81億円である

Q 合併特例債53億活用しているが、新庁舎建設に対し1/6の費用が使われることに議会の反対は無かったか

A 庁舎建設に先立ち、秋田市7地域にサービスセンター化することにし、特例債が活用された。その延長として市民が集う場の一つとして新庁舎建設が進められ議会からの反対は無かった。

Q 太陽光発電はどの様に活用しているか

A 庁舎の一部に活用、災害時の停電に対応することとし、災害対策本部室、中央サービスセンターに優先的に使用することになっている。

説明、質疑の後、庁舎内を見学した。

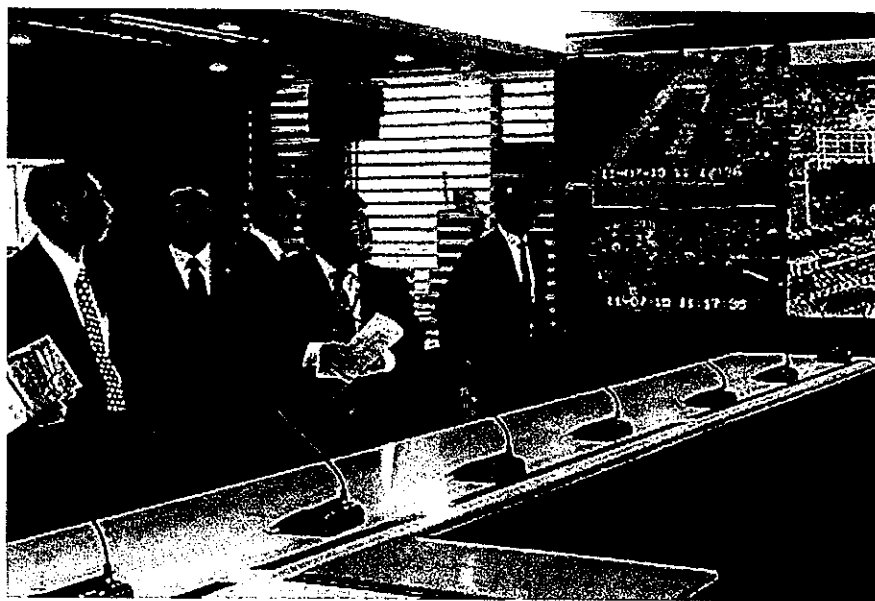
秋田市財産管理活用課担当者から説明



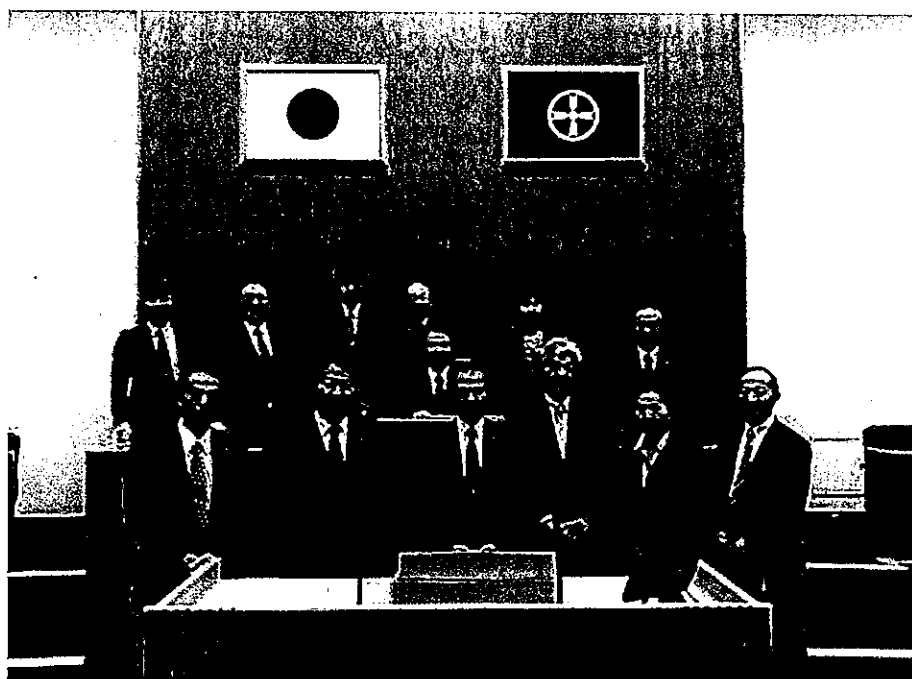




吹抜けの庁舎内部を見学



防災対策本部室



## 視察報告書

報告者 工藤健一

- 1 日時 令和元年11月7日(木) 13:30~15:30
- 2 場所 秋田市総合環境センター(秋田市河辺豊成字虚空蔵大台滝1-1)
- 3 対応者 秋田市環境部総合環境センター所長 中島芳美  
// 管理担当参事 長谷川洋一  
// 参事 水戸瀬敏之

4 視察項目 秋田市内のごみの処理全般について

5 視察内容

(1) ビデオにて総合環境センター概要説明される

(2) 現地見学視察

プラットホーム、中央管制室(ごみピット)、溶融炉、発電施設

(3) 施設概要

シャフト炉式ガス化溶融炉は、ガス化・高温溶融一体型の炉で多様なごみを確実に処理、資源に再生。

### ○溶融施設



敷地面積：432,000 平方メートル

着工：平成10年9月

竣工：平成14年3月

処理方式：シャフト炉式ガス化溶融

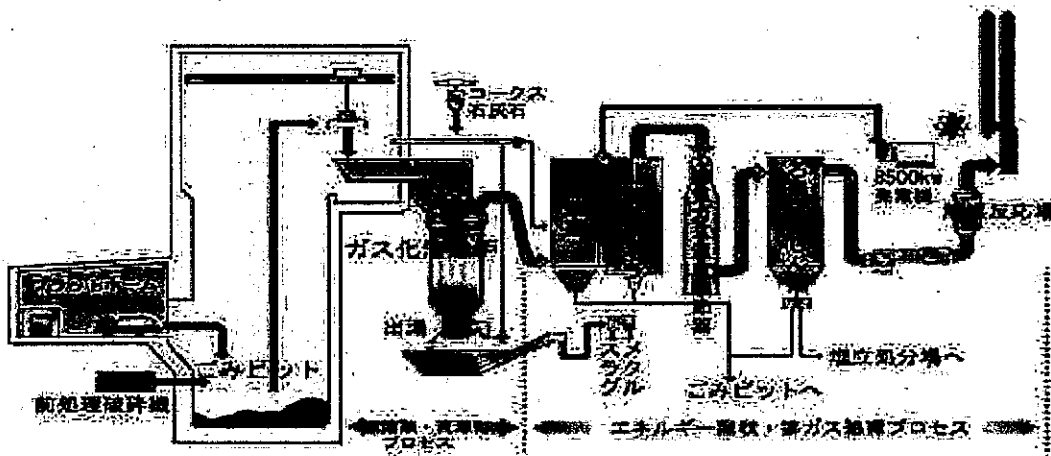
総事業費：204億6,000万円

ピット・アンド・クレーン方式

ピット容量：9,200 立法メートル

- ・処理能力：24時間につき230トンX2炉(平成23年度に能力増強工事完了)
- ・燃焼設備 旋回燃焼方式、
- ・燃焼ガス冷却設備 自然循環式廃熱ボイラー  
蒸気条件：常用4メガパスカル、摂氏400度
- ・排ガス処理設備 ろ過式集じん器(ばいじん除去、脱HCl、脱SOx)触媒方式(脱NOx、脱ダイオキシン)
- ・余熱利用設備 蒸気タービン発電 定格8,500キロワット
- ・通風設備 平衡通風方式
- ・溶融物処理設備 水砕・磁選・ホッパ方式

・処理の流れ



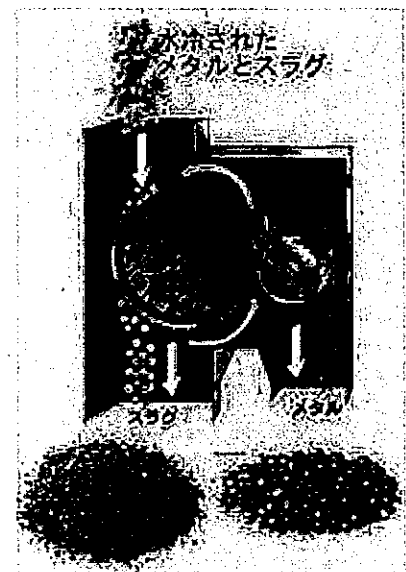
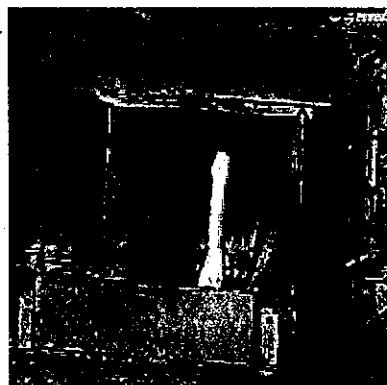
・多様なごみの一括処理

汚泥、焼却施設からの残渣等も含めて、多様なごみを安定して熔融します。炉内の各温度帯が、ごみの性状に合わせてフレキシブルに機能し、ごみ質の変動に左右されない。



熔融炉の中で 1,700～1,800 度の高い温度で溶かして処理される。

ごみは無害なスラグとメタルになり、資源として生まれ変わります。



水で冷やされて無害なスラグとメタルになり、磁選機に送られます。磁選機によってスラグとメタルに分けられ、それぞれが資源化されます。

熔融炉から出てきたガスは、燃焼室で完全燃焼され、約 850 度～950 度のガスとなり、熱エネルギーを回収するためにボイラーに送られます。

溶融炉は全連続運転で高温状態を保つと共に、石灰石が有害成分を中和するため、ダイオキシン類が元来発生しにくいシステムとなっている。さらに後段の独立型燃焼室での最適な燃焼制御や、ろ過式集じん器、触媒反応塔の設置など万全の環境対策を行っている。

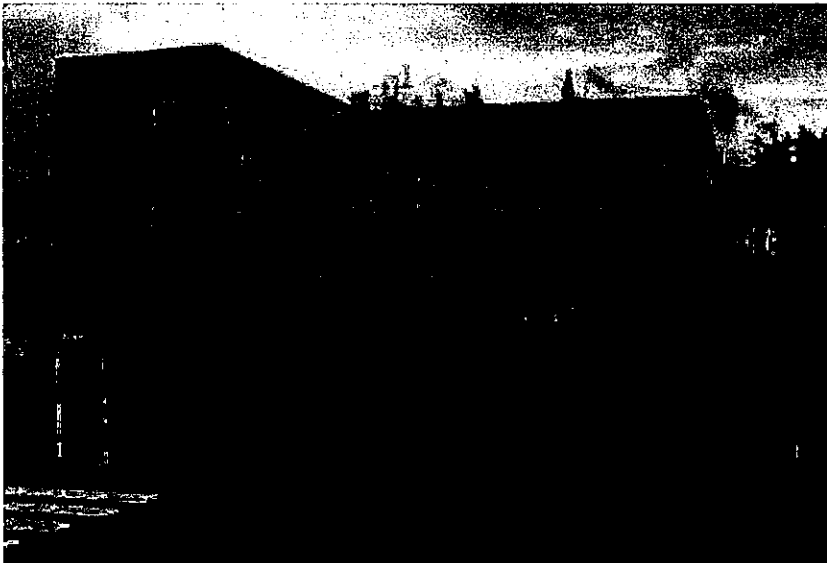
燃焼室から送られた高温ガスの熱エネルギーはボイラーで回収され、高温高压の蒸気を作り、タービン発電機に送られる。

ボイラーから送られた蒸気でタービンを回転させ発電する。

排ガスの中に消石灰を混ぜて硫黄酸化物 (SOx) と塩化水素 (HCl) を無害化し、フィルターを通すことによりばいじんと一緒に取り除きます。

排ガスの中にアンモニアガスを混ぜて、触媒層を通すことによって窒素酸化物 (NOx) を無害な窒素と水に分解する。ダイオキシンもここで分解される。

### ○リサイクルプラザ



#### 見学箇所

- ・展示ホール (ペットボトルコーナー)
- ・展示ホール (古紙コーナー)
- ・展示ホール (びんコーナー)
- ・展示ホール (缶コーナー)

秋田市から分別収集された空きびん、空き缶、ペットボトル、使用済み筒型乾電池を種類別に再資源化するための中間処理施設である。

#### ・処理能力

びん処理設備 : 5時間につき 36 トン

缶・乾電池処理設備 : 5時間につき 28 トン

ペットボトル処理設備 : 5時間につき 10 トン

#### (4) 質 疑

Q 団地と本施設との建設時期はどうであったか

A 古くから本地区はゴミの埋め立て地があったり焼却炉があった。団地は、ずっとあとから建設されたので、新住民の苦情みたいなものはない。

Q コークスはどこから購入しているのか

A 現在は中国で、入札により購入している。

Q ランニングコスト高くはないか

A ストーカ炉に比べ若干高いが最終処分場がストーカ炉に比べ5倍くらい延命化されるので、トータルコストは安くなる。

Q 地元とはうまくいってるか

A 特に問題はない。

Q 3Rはうまくいっているのか

A リサイクルセンター中心に進めている。また、市民センターに小家電回収箱を置いて啓蒙を図ったりしている。

Q 地域還元施設はあるのか

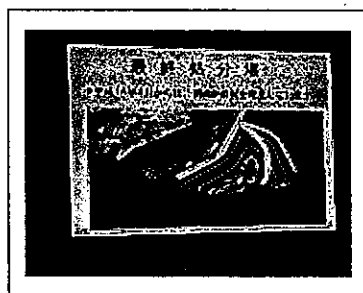
A 健康センターを建設したが、利用者が少なく取り壊した。

#### (5) まとめ

秋田市環境総合センターは、新興住宅に隣接しているが後発の団地なので特に苦情らしいものはないようである。また、地元会長も地元の数十人もリサイクルセンターで働いておりそのあたりもうまく回っているように感じた。

処理方式が熔融炉であるので、燃えるゴミの分別が徹底されていなくても最終的にメタルとスラグとほんの少しの焼却残渣の3種類となり、ほとんどが資源として利用される。また、最終処分場にいく残渣も少ないので、最終処分場も長期間の使用が可能となっている。

建設費用とランニングコストの合計が、他処理方式施設とほぼ同費用であれば、資源化率と最終処分場の使用可能年数を考えると、かなり有利な処理方式と思われた。現在、盛岡のクリーンセンターはストーカ方式なので、更新にあたっては十分な比較検討を求めていく必要を感じた。



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R1.12.5
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	202,980	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	202,980	円
【支払概要】 市政調査会 R1.11.22~26 台湾花蓮視察	項目	金額(円)
	JR (盛岡⇄浜松町) 乗車券・特急券	29,820
	モノレール (浜松町⇄羽田空港) 乗車券	1,000
	航空運賃	57,000
	空港諸税および利用料、サーチャージ	13,040
	宿泊費 @11,000 円 × 4 泊	44,000
	朝食代 @2,000 円 × 4 日	8,000
	現地交通費	26,120
	添乗員・通訳費用	24,000
	合計	202,980

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

## 領 収 証

BC-00032200  
発行日 2019/12/05

竹田 浩久 様

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

**金額** ¥202,980.-

上記金額を正に領収いたしました  
但し、市政調査会視察旅費

現金 202,980 円  
 小切手  
 振込  
 クレジット  
 その他 ( )

名鉄観光サービス株式会社  
(本社所在地)  
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印
●	●

BC-025822

## 視察等概要書

議員氏名 竹田 浩久

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月23日(土)
参加者	大石仁雄、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾花蓮縣花蓮市 ・花蓮県議会表敬訪問ならびに議場、歴史資料館見学
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <p>花蓮県議会を表敬訪問。挨拶等の後、議場や県議会歴史資料館を見学。花蓮県議会議員の定数は33人で、うち13人が原住民、同じく13人が女性議員。</p> <p>【所感】</p> <p>女性の社会的な地位の高さ、平等性を強く感じた。</p> <p>初の訪問であったが日本との関係を好意的に捉えていることを強く感じられ、今後様々な分野での交流を図る必要があると思われる。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視察等概要書

議員氏名 竹田 浩久

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月24日(日)
参加者	大石仁雄、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾花蓮縣 ・農業関連施設視察① 花蓮觀光糖廠(花蓮光復製糖工場)
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <p>当施設は、台湾に派遣された新渡戸稲造により設立の「台湾製糖株式会社」(当時の名称。現、台湾糖業公司)の一部門。</p> <p>施設内の「花糖文物館」(歴史館)には、新渡戸稲造の胸像が設置。台湾の製糖業振興に対する取り組みや、シュガートレインなどとともに、新渡戸の功績が顕彰されている。</p> <p>【所感】</p> <p>台湾花蓮縣と日本、統治時代からの長い歴史を感じさせる建物や農場があり、特にも新渡戸稲造の胸像は戦後の台湾の経済復興に尽力した証として残っている。よりよい関係を今後とも築かなければと思った</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書



## 視察等概要書

議員氏名 竹田 浩久

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月24日(日)
参加者	大石仁雄、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾花蓮縣 ・農業関連施設視察② 舞鶴茶園公主珈琲
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <p>舞鶴は台湾の中でも有数のコーヒーの産地。約100年前の日本統治時代に、日本人によってコーヒー栽培が広められた。</p> <p>戦後はこの地域で茶葉栽培も開始。緑茶、烏龍茶、密香紅茶などの栽培を行っている。</p> <p>【所感】</p> <p>約100年前日本の統治下にあった台湾舞鶴において、日本人が広めたコーヒー栽培が台湾有数のコーヒー産地になっている。熱烈に歓迎する台湾の方々に感謝するとともに農業分野での交流の促進も感じる。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 視察等概要書

議員氏名 竹田 浩久

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和元年11月25日(月)
参加者	大石仁雄、天沼久純、高橋重幸、菊田隆、鈴木俊祐、竹田浩久、櫻裕子、藤澤由蔵、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、加藤麻衣 計12名
視察先および調査項目	台湾台北市 ・台湾観光協会訪問、意見交換
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <p>台湾観光協会を訪問し、観光資源としての雪景色、ロケ誘致、教育交流、美食による訴求等に関する意見交換を行った。</p> <p>【所感】</p> <p>台湾から日本への観光客は480万人、日本からの台湾への観光客は196万人となっている。中学生の交流があることから将来の日本人観光客の増加に期待しているとのこと。また今回の友好都市締結に伴い、台湾の方々の日本に対する好印象が強く感じられた。子供たちから大人まで、産業面においては農業から観光に至るまで幅広い交流が広がることを期待したい。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## 【市政調査会台湾・花蓮市視察報告書】

### <<日 程>>

令和元年 11 月 22 日 (金) ～11 月 26 日 (火)

### <<市政調査会>>

会長	天沼 久純議員	鈴木 俊祐議員
	高橋 重幸議員	菊田 隆議員
	竹田 浩久議員	藤澤 由蔵議員
	櫻 裕子議員	浅沼 克人議員
	田山 俊悦議員	大石 仁雄議員
	小笠原秀夫議員	加藤 麻衣議員

### 【花蓮市の概要】

- 沿革 花蓮市は台湾花蓮県の県轄市。花蓮県政府の所在地。日本統治時代の 1920 年に花蓮港庁花蓮港支庁花蓮港街として再編され、1937 年に郡制施行により花蓮港庁花蓮郡に属する。1940 年に市制施行により花蓮港市になる。戦後の 1946 年に花蓮市と改称されて現在に至っている。
- 人口 約 106 千人
- 位置 北緯 23 度 58 分 東経 121 度 36 分  
東京 (羽田) から首都台北まで飛行機で約 3 時間 30 分  
台北から特急列車で約 2 時間
- 気候 平均最高気温 26.8 度 最低気温 20.7 度 年間降水量 2,157mm
- 姉妹都市 蔚山広域市 (韓国)、与那国町 (沖縄県)、アルバカーキ (アメリカ)、ベルビュー (アメリカ)、オウツフルン (南アフリカ共和国)
- 友好都市 高千穂町 (宮崎県)、サンタマリア (フィリピン)、サイパン市 (アメリカ)  
盛岡市
- 主要産業・観光・政府関係

花蓮県、花蓮市の主要産業は、観光ならびに石材業。大理石の産地が近隣に所在する。

花蓮は、1622 年にスペイン人が来航して砂金の採取を行った歴史がある。漢人が初めて入植したのは 1851 年であるが、当時は台湾東部への交通は海路に限られており、それは日本統治時代の 1932 年に臨海道路 (現・蘇花公路) が開通するまで続いた。その当時は、多くの日本人移民がこの地に入植していた。1945 年以降は中華民国により領有されて花蓮県が設置され、現在に至っている。

### 【花蓮市の主な観光スポット】

- 太魯閣溪谷 (タロコ溪谷) … 花蓮郊外にある峡谷。山々がそびえる雄大な自然保護公園
- 阿美文化村 … 華やかな民族衣裳をまとった原住民族「阿美族」の男女が踊りを披露する
- 東大門夜市 … 花蓮最大の夜市
- 七星潭 (チーシントン) … 東海岸に位置し、弧を描いた海岸線が優美
- 松園別館 … 旧日本軍により建造された、和洋折衷の瀟洒な建物

【令和元年 11 月 23 日(土)】 花蓮県議会表敬訪問

<参加者>

—花蓮関係者—

花蓮県議長他 県議員多数、県職員等

—盛岡関係者—

盛岡市議団 12 名、市職員等

<概要>

花蓮県議会を表敬訪問。花蓮県には市議会がないため、県議会を訪問した。会議室に通された後は、花蓮県議会議員と盛岡市議会議員一人一人の名前を紹介。その後花蓮県議長から歓迎のご挨拶を頂き、遠藤議長も挨拶。プレゼントを交換し合った後は、議場や県議会の歴史資料館を見学した。議場の議員の席には資料や私物等が置いてあった。ちなみに花蓮県議会議員の定数は 33 人で、そのうち 13 人が原住民、同じく 13 人が女性とのこと。改選して女性議員が増えたそう。



自己紹介タイム



議場



議員のデスク



議長席前にて集合写真

## 【令和元年11月24日(日)】 ①花蓮観光糖廠（花蓮光復製糖工場）見学

### <新渡戸稲造の功績>

台湾を領有した頃の日本は、砂糖消費量の大部分を輸入に頼っていた。そこで第4代台湾総督の児玉源太郎と民政長官の後藤新平は、植民政策の中心を産業振興に置き、その中心に糖業奨励を推進することにして、台湾に新式製糖会社を設立することを企画した。その立役者になったのが、新渡戸稲造である。新渡戸は台湾総督府の技師として赴任し、1900年12月に「台湾製糖株式会社」を設立するに至った。同社は、台南県橋仔頭庄に台湾最初の新式機械製糖工場を建設し、1902年1月に操業を開始した。台湾製糖の設立をきっかけとして1903年12月に塩水港製糖株式会社も設立された。

新渡戸の努力によって発展した台湾の製糖会社は、45年日本の敗戦によって大きく様変わりし、幾多の変遷を経て、台湾糖業公司となった。台湾糖業公司は50～60年代にかけて、大量の砂糖製品を輸出し、大企業に成長した。台湾糖業公司は現在でも台湾最大の地主であり、農場を中心に台湾各地に広大な土地を所有している。通称「台糖」と呼ばれ、台湾における歴史ある企業として今も活動している。

この花蓮観光糖廠には、「花糖文物館」という歴史館があるが、そこには新渡戸稲造の胸像が設置され、殖産興業の要として、台湾での製糖業振興に対する取り組みや、シュガートレインなどとともに、新渡戸の功績が顕彰されている。



歴史館入口



新渡戸稲造胸像前にて

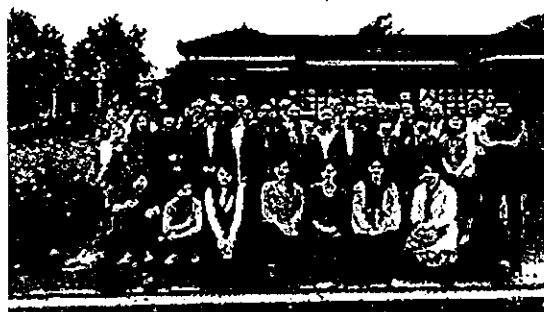
### <日本家屋が点在する宿泊エリア等>

入口を歩いていくと、整然と列をなした日本式建築が並んでいる。かつては職員用宿舎であったが、これにリノベーションを施し、2011年から「台糖花蓮旅館」として運営されている。

整然と並んだ大規模な木造建築群は、古きよき時代の和やかな雰囲気にも包まれている。内部は、まさに日本家屋であり、玄関、障子、ふすま、押入れ、畳部屋など、日本家屋の風合いそのものである。



日本家屋の佇まい



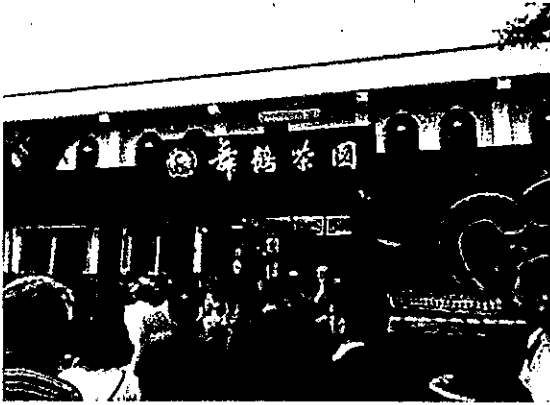
日本家屋前にて集合写真

【令和元年 11 月 24 日（日）】 ②舞鶴茶園公主珈琲

<コーヒー産業と茶業>

花蓮縣政府の紹介による現地視察として、精糖工場跡からバスで 30 分程移動し、舞鶴茶園公主珈琲を訪問した。舞鶴は台湾の中でも有数のコーヒーの産地として知られている。その歴史は約 100 年前、日本の統治時代に、日本人によってコーヒー栽培が広められたとのこと。農園には 100 年前のコーヒーの古い木もあった。また、コーヒーの豆となる実を見せてもらった。少し苦みも感じる実をかじると、白いよく見る焙煎前のコーヒー豆を見る事が出来た。統治時代の台湾花蓮と日本、お互いの経緯を超えて、100 年の歴史を感じた。

戦後はこの地域の気候等環境が適しているとのことで、茶葉栽培にも取り組んでおり、緑茶、烏龍茶の茶葉、さらに密香紅茶栽培にも取り組んだとのこと。この紅茶を試飲したが、甘さを感じる紅茶で台湾らしい紅茶であった。日本人にも合う紅茶で、盛岡で花蓮の物産展などが催された時には、ぜひ紹介したい一品であると感じた。



舞鶴茶園公主珈琲の建物入口



珈琲の木

<参加者>

—担当者—

秘書長 吳朝彦 氏

副秘書長 ■■■■■ 氏

他、通訳者等

—盛岡関係者—

盛岡市議団 12 名

他、通訳者等

<意見交換>



Q: 盛岡の冬はとても寒いですが、観光としてどうか。台湾で雪を見られるのか。

A: とても寒いならアウトドア等は難しいだろう。冬でも台湾でならアウトドアは体験できる。なお、3000mを越える山があり、雪は体験できる。

Q: TV番組に取り上げられると人気になる。ロケ誘致に力を入れたいが、どうか。

A: 愛媛県新居浜市では映画観光として、自然や食べ物を台湾の映画館で宣伝。日本の地方都市は台湾観光局に積極的にPRしている。

Q: 台湾から日本への観光客と、日本から台湾への観光客の倍くらいの数の差があるが、どの様に捉えているか。

A 台湾人 2300 万人中、1600 万人が海外に旅行する。2018 年は 480 万人が日本に行く。原因は、距離が近く、飛行機の便が多い。日本との歴史が深い。年配者は日本語ができる。日本は治安が良い。交通の便が良い。美味しい食べ物が多い。などが上げられる。一方、196 万人が日本から台湾へ旅行しているが、1 億 2000 万人の人口があるのもっと人数を増やしたい。問題は、飛行機の座席が少ない。パスポートの所有率が 24%と低い。また、台湾が日本の観光を学ぶべきで、地方での観光への力の入れ方がまだまだ足りない。なお、八田与一など日本人の偉業として残されている遺跡があり、日本の学生がそれらを学習できる。

Q: 教育交流のように、若い時期の交流体験は有意義と思われるが、如何か。

A 実際、中学生が相互の都市を行ったり来たりしており、将来的に大きな効果があるだろう。友好都市となって、教育交流で農業体験やスポーツ体験など可能性がある。

Q: 東京、京都のように盛岡が選ばれる観光地となるには。

A: 盛岡市への楽しいイメージを作ること。台湾にイベントが沢山あるが、美食展に出展するのもよい。貿易センタービルで、7月下旬から8月上旬まで開催し、36万人が集客できる。盛岡りんごの宣伝も大きな効果があるだろう。

Q: 台北で10月にLGBTパレードに17万人が集まった。それによる経済的な影響や観光面での効果は。

A: 今年、同性でも結婚できることになった。アジアで初めて立法化。このパレードは総合的要素があり、プラスとマイナスの効果がある。台湾が自由、平等で民主的な国であることを知らしめ、それにより台湾に行ってみたいと思わせるプラスの面がある。マイナスの面ではそういうことを受け入れない人もいるということ。いずれにしろ、歴史的にヒューマンライツを重視しているのが台湾である。

## 盛岡市政調査会台湾花蓮・台北訪問日程

令和元年11月22日(金)～11月26日(火) 4泊5日

月 日	時間	行程
① 11/22 金	6:30	盛岡駅南口集合
	7:10発	はやぶさ4号→東京駅乗りかえ羽田空港着
	12:15	国際定期便にて台北松山空港へ 貸し切りバスで花蓮市へ移動
	20:00	花蓮縣歓迎レセプション  〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル
② 11/23 土	午前	ホテルにて朝食 夕口国立公園見学
	14:00	花蓮縣議会表敬訪問・意見交換会
	夕方	盛岡山車パレード参加
		〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル
③ 11/24 日		ホテルにて朝食
	11:30	友好交流都市盟約調印式
		記念レセプション
	13:30	農業関連施設(製糖工場、コーヒー農園・茶葉農園・温泉施設等)視察
		東大門夜市・太平洋花彩節参加 〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル
④ 11/25 月		台北市へ移動
	13:30	台湾観光協会訪問(市政調査会での訪問)
	14:30	市議会議員団故宮博物館見学、夕食交流会
		〈台北市内泊〉
⑤ 11/26 火	朝 午前 昼 16:33	ホテルで朝食 ホテル発 国際定期便にて帰国 羽田空港着 盛岡駅着



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R2.2.3
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	3,218	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	12分の1	
政務活動費支出金額	268	円

【支払概要】	盛友会 R2.2.5~7 うるま・那覇行政視察
視察先手土産	※ 領収書原本は大石議員保管
対象議員12名で案分	※ 端数2円は大石議員に加算
268円×12名=3,216円	※ 参加議員のうち遠藤政幸議長は本件案分対象外
対象議員	※ 参加議員のうち遠藤政幸議長は本件案分対象外
竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、中野孝之助	
千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄、小笠原秀夫	

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

0000-4312 2020年 2月 3日月曜日

## 領 収 証

盛友会 様

¥ 3,218 -

(消費税 ¥238)

但し、(商社)せんべい代として 軽減税率対象  
老舗白沢せんべい店株式会社 盛岡市盛岡町2-16  
TEL 019-622-7224

担当 者 XXXXXXXXXX

\*保管上のお願  
財布等で保管時、印刷面を内側に折って保管願います。

領収証No 2424

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R2.2.7
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	4,760	円
支出按分率（※按分が必要な場合）	12分の1	
政務活動費支出金額	397	円

【支払概要】	盛友会 R2.2.5~7 うるま・那覇行政視察
タクシー代 (ホテルパームロイヤル那覇⇒那覇空港)	
対象議員12名で案分	※ 領収書原本は大石議員保管
397円×12名=4,764円	※ 端数4円は大石議員から減算
対象議員	※ 参加議員のうち遠藤政幸議長は本件案分対象外
竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、中野孝之助	
千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄、小笠原秀夫	

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書  
No. 2708  
日付 2020年 02月 07日  
車番 0149 0000  
基本運賃 ¥1,610円  
合計 ¥1,610円  
上記の様に領収致しました  
毎度ご乗車ありがとうございます。  
① 第一交通運輸グループ

タクシー御用命 (24時間営業)  
那覇市内 TEL 853-7801  
那覇市内と周辺のいたるところを配車区域として無線車をご利用をお待ち致しております。  
沖縄県那覇市地名3丁目6番17号  
那覇第一交通株式会社  
TEL 833-4784

領 収 書  
No. 2147  
日付 2020年 02月 07日  
車番 0193 0000  
基本運賃 ¥1,610円  
合計 ¥1,610円  
上記の様に領収致しました  
毎度ご乗車ありがとうございます。  
① 第一交通運輸グループ

タクシー御用命 (24時間営業)  
那覇市内 TEL 853-7801  
那覇市内と周辺のいたるところを配車区域として無線車をご利用をお待ち致しております。  
沖縄県那覇市地名3丁目6番17号  
那覇第一交通株式会社  
TEL 833-4784

領収書  
毎度ご乗車ありがとうございます。  
車両番号 302号  
2020年02月07日  
乗車料金 ¥1540円  
立替金 円  
上記の通り正に領収致しました。

鏡原第一交通  
〒902-0078  
沖縄県那覇市字識名3-6-17  
電話098-833-4784  
お忘れ物やご要望がありましたら上記のTELまでご連絡下さい

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R2. 2. 14
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	116,583	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	116,583	円
【支払概要】 盛友会 R2. 2. 5~7 うるま・那覇行政視察	項 目	金額(円)
	JR (盛岡⇄浜松町) 乗車券・特急券	29,820
	モノレール (浜松町⇄羽田空港) 乗車券	1,000
	羽田空港 → 那覇空港	23,150
	那覇空港 → 羽田空港	14,115
	貸切バス	17,148
	うるま市宿泊	15,950
	那覇市宿泊	14,300
企画料	1,100	
合 計	116,583	

領収書等添付欄	別紙に添付
---------	-------



AB No. 205283

お客様コード

2020年1月14日

DATE

領 収 証 RECEIPT

RECEIVED FROM

竹田 浩久

様

領収金額  
THE SUM OF

¥ 116,583-

但し  
FOR

視察旅行

上記金額正に領収致しました  
The above sum has been duly received.

発行者印

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	✓ (2020年1月29日)
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社

盛岡支店  
〒020-0022 盛岡市大通1丁目11-13  
TEL 019-651-8800

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の  
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹 田 浩 久

<p>会派名</p>	<p>盛友会</p>
<p>実 施 日</p>	<p>令和2年2月5日(水)</p>
<p>参 加 者</p>	<p>大石仁雄、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、 中野孝之助、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、遠藤政幸、 小笠原秀夫 計13名</p>
<p>視察先および 調査項目</p>	<p>沖縄県うるま市 ・うるま市友好都市連携事業について</p>
<p>視察の概要 および所感</p>	<p><b>【視察概要】</b> 友好都市盟約締結後の文化、物産、教育などの交流事業に関する意見交換を行った。特に子どもたちの交流の将来にとってインパクトが大きいとの意見。ほか、今後は行政職員の人事交流も有効との意見もあった。</p> <p><b>【所感】</b> 友好都市締結からはや8年が経過、議員間の交流はあるものの民間での交流が少ないような気がする。芸術文化、スポーツの交流も大切ではあるが民間の交流が少し足りないのではと思われる。市も積極的にかかわり経済交流に結び付くよう展開しなくてはと強く感じた次第である。</p>
<p><b>【添付資料】</b> 参加者により共同作成した報告書</p>	

## 視察等概要書

議員氏名 竹田 浩久

会派名	盛友会
実施日	令和2年2月6日(木)
参加者	大石仁雄、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、中野孝之助、千葉伸行、浅沼克人、由山俊悦、長岡利明、小笠原秀夫 計12名
視察先および調査項目	沖縄県うるま市 ・うるま市スポーツ推進計画について
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b></p> <p>本計画は、スポーツ基本法に基づく、地域スポーツ推進計画。生涯・競技スポーツおよびスポーツを通じた地域活性化を総合的、計画的に推進していくための指針として策定した。特徴点は以下の2点。</p> <p>①2部の連携体制 … 経済部と教育委員会が連携</p> <p>②地の利を活かした営業体制 … プロ野球球団キャンプ等を誘致</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>恵まれた環境にある特性を生かし、プロスポーツチームの合宿誘致など大きな経済効果を生み出しスポーツの産業化を実現している。</p> <p>盛岡市も四季のある特性を生かしスポーツの力を最大限活用する必要性を強く思った視察であった。</p>
<b>【添付資料】</b>	参加者により共同作成した報告書

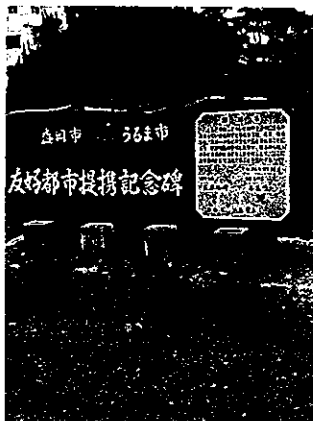
視 察 等 概 要 書

議員氏名 竹田 浩久

会派名	盛友会
実施日	令和2年2月6日(木)
参加者	大石仁雄、竹田浩久、村田芳三、菊田隆、藤澤由蔵、櫻裕子、中野孝之助、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、小笠原秀夫 計12名
視察先および調査項目	沖縄県那覇市 ・議会運営について 一般質問の方式について タブレットの導入と議会活動での活用、議場での運用について
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <p>1. 議場見学 2. ヒアリング</p> <p>(1) 一般質問の形式について 一括質問・一問一答とも、質問15分以内、答弁含み30分以内。</p> <p>(2) タブレット端末の活用について 議場・委員会室双方使用可。個人所有タブレットも議長に届出をすれば使用可能。</p> <p>【所感】</p> <p>那覇市は4年前からタブレットを導入しており、2年度から導入予定の盛岡市議会にとり大変有意義な視察となった。特にも導入にあたっては議論となったペーパーレス化の効果であるが、1年目から徐々に出てきているとのことであり使いこなしていかなければならないと強く感じた。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

## うるま市議会視察（意見交換会）報告書

- 1 日時 令和2年2月5日（水） 16時から17時
- 2 場所 うるま市役所全員協議会室
- 3 視察（意見交換会）項目  
盛岡市・うるま市友好都市連携事業について
- 4 対応者 うるま市議会 幸地 政和議長 他議員9名（6会派の議員）  
うるま市役所 議会事務局 長峰 斉事務局長 他3名
- 5 意見交換
  - (1) うるま市議会 幸地政和議長挨拶
  - (2) 盛岡市盛友会 竹田浩久幹事長挨拶
  - (3) 盛岡市・うるま市友好都市連携事業のこれまでの概要説明
  - (4) 意見交換
    - ・ 昨年の中学生交流事業の中学生の感想文の発表（浅沼議員）
    - ・ 子供と商工会の交流を長く継続することを望む。  
予算等の位置付けをしっかりと市長に要望したい。（うるま市中村議員）
    - ・ 中学生の感想に感動した。継続を望む。盛岡市のさんさ踊りの取り組みに感心する。両市の職員の人事交流を望む。（うるま市仲本議員）
    - ・ うるま市に来ていただいて感謝する。6年くらい盛岡に行っていないので、是非お邪魔したい。夏はうるま市、冬は盛岡市での交流を考えたい。（うるま市平良議員）
    - ・ カーリングの体験を望む。（うるま市喜屋武議員）
    - ・ 盛岡からの宿泊は民泊を検討しては。（うるま市金城議員）
    - ・ 盛岡からの視察は当会派だけなので、他の会派にも声を掛けていきたい。（盛岡市菊田議員）



## うるま市視察報告書

1. 日時 ・ 令和2年2月6日(木) 9:30～11:00
2. 場所 ・ うるま市議会第一委員会室
3. 視察項目 ・ うるま市スポーツ推進計画について
4. 対応者 ・ うるま市経済部観光振興課  
課長 松岡 秀光氏 副技幹兼係長 [REDACTED] 氏  
担当 [REDACTED] 氏 担当 [REDACTED] 氏  
・ うるま市教育委員会生涯学習振興課  
課長 新里 禎規氏 係長 [REDACTED] 氏  
担当 [REDACTED] 氏

### 5. 視察内容

#### (1) 推進計画策定の背景および趣旨

- ・ 2011年(平成23年)に制定された「スポーツ基本法」に基づく、地域スポーツ推進計画として策定した計画。
- ・ うるま市における生涯・競技スポーツおよびスポーツを通じた地域活性化を総合的かつ計画的に推進していくための指針として策定した。

#### (2) スポーツ推進に関する課題

- ・ 当市のスポーツ習慣は、沖縄県平均よりも高いが、全国平均を下回っている。
  - ※ 1年間で1日当たり30分以上の運動やスポーツを行った者の割合  
当市～42.1%、全国～51.5%
  - ※ 特に、30代～40代の実施率が他年代より低い。加えて、小中学生の体力状況は、全国平均および沖縄県平均を下回っている。
- ・ 社会体育施設についても老朽化しているほか、施設内での相談やアドバイス機能も弱い状況。
- ・ スポーツの産業化についても、他の産業との連携融合が弱く、地の利を活かし切れていない。

#### (3) スポーツを通じた健康増進と地域活性化の実現

- ・ 本計画は、①市民の健康づくり、②子どものスポーツ機会の拡充、③スポーツを通しての地域活性化、④スポーツ環境基盤の整備、の4つを基本方針として、12の基本施策と、35の施策展開を掲げて推進することとしている。
- ・ 目標指標は、以下の3点(2018年対2028年)
  - 週1日以上運動を実施している成人の割合 ～ 42.1% ⇒ 65%
  - 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ～ 沖縄県平均以上に引き上げ



○スポーツコンベンション開催件数 ～ 10件 ⇒ 後期5年で75件

#### (4) スポーツ推進に関する特徴点

##### ① 経済部と教育委員会が連携

- ・経済部がスポーツ行政を所管し、生涯学習については教育委員会で担当する。  
⇒ スポーツによる地域活性化を目的として推進
- ・例えば、韓国プロ野球チームや高校野球チームのキャンプを誘致  
⇒ 市内での宿泊、市内での飲食を推進、その他のサービスも市内で提供  
⇒ 盛岡大附属高校もキャンプの実績あり

##### ② 地の利を活かした営業体制

- ・プロ野球球団などは、場所や気候の優位性ゆえ、施設があれば興味を示す
- ・この状況に対し、施設の売り込みを中心に営業活動を行っている

#### 6. 質疑応答

Q：2部署の連携について、ネックになっていることがないか。

A：当市の観光振興の中で、スポーツによる観光振興の重要性が高いとの認識から、本計画の推進にあたって、当初から経済部と教育委員会が連携して実行する体制とした。

⇒ 横断的な協議を行う会議体として「行政経営会議」を設置

⇒ 生涯学習は教育委員会、プロスポーツは経済部

Q：スポーツ推進に関する当市独自の取り組みは、どのようなものか。

A：プロスポーツの選手を小中学校に招聘することを通して、スポーツへの積極参加のキッカケとなるように取り組んでいる。一方、「地の利、気候の利」がまだ十分に活かしきれていない。まだまだやることがありそうである。

Q：「あやはし海中ロードレース」に関する評価と課題は。

A1：県外ランナーの誘致がまだまだ弱い状況。一方で、安全面を考えると、現在の8,500人が限度であり、そのレベルの参加者で歯止めをかけている状況である。

A2：本大会の総事業費は3,800万円。うち市の負担額は380万円。

A3：市民ボランティアについては、開催地である旧与那城町内の各自治会が中心となって対応している。

Q：うるま市のマラソンを選んでもらうための工夫は。

A：開始以来20回の実績があり、「4月に行うハーフマラソン」というイメージが定着してきたことが大きい。ただし、最近では4月でも暑すぎる、との意見もあり、実施時期の見直しも迫られている。 ⇒ 令和2年は3月22日に開催予定

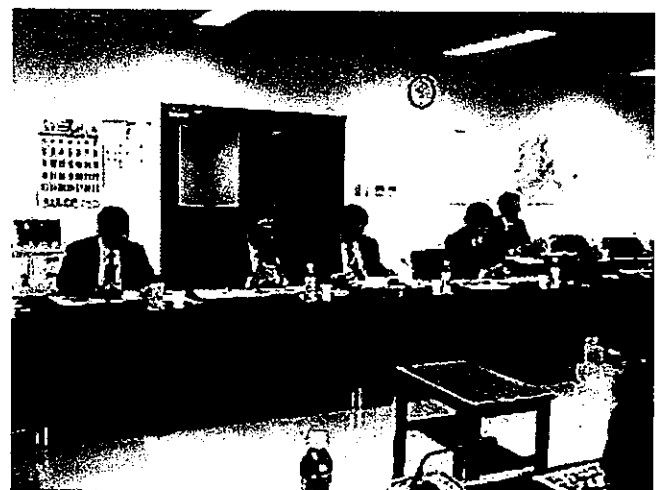
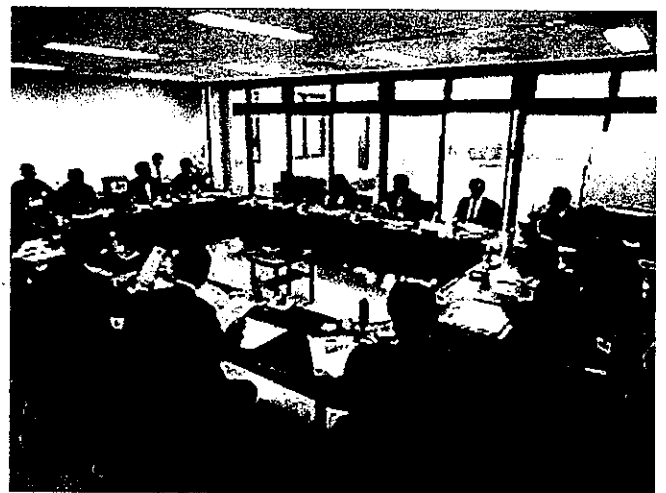
#### 7. まとめ

うるま市のスポーツ推進計画は、若年層や働き盛りの層のスポーツ習慣を高めること

に加え、スポーツを通じた経済活性化を目指すということから、経済部が所管しつつ、教育委員会と二部署が連携して取り組む体制としていることが大きな特徴点である。加えて、地の利と気候の利を活かして、プロスポーツチームや学生チームのキャンプ地としても優位性があるということが、スポーツ推進にあたっての追い風となっている。

しかしながら、施設の老朽化対策、相談・アドバイスを行う専門人材の育成が、推進のネックになっていることから、施設改修を段階的計画的に推進していくことや、人材育成が今後の大きな課題である。また、スポーツイベントの目玉である「あやはし海中ロードレースは、次回が開催 20 回目ということもあり、相当に定着してきた感があるが、昨今の気候変動を受けた開催時期の見直しを行うところであり、他都市との競合にも考慮しながら、これをどのように定着させるかが、新たな課題となっている。

スポーツを通しての健康増進と経済活性化との双方を目的としている当市の基本思想は、盛岡においても共通の課題であり、今後の大きな参考となるものである。





## 視察報告書

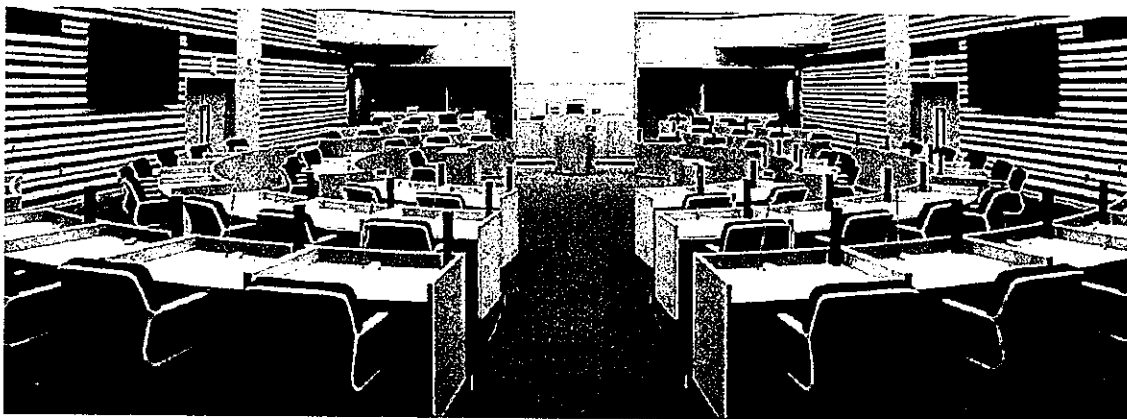
文責 小笠原秀夫

- ① 日時 令和2年2月6日(木)
- ② 沖縄県那覇市 那覇市役所
- ③ 視察項目 ・議会運営について（一般質問形式・タブレット端末の活用）
- ④ 対応者 那覇市議会 ・上原快佐議員 ・新垣淑豊議員  
議会事務局 ・主幹 徳永周作氏 ・主任主事 ████████ 氏

### ⑤ 概要

#### (1) 議場について・・・上原議員より説明

那覇市議会の議場は全国的にも珍しい「円形議場」である。質問席は2か所あり、どちらを使用してもよいことになっている。議場壁面には100インチの大型モニターが設置されていて、写真等を使用しての一般質問が可能となっている。このモニターには議案に対する議員の賛否を表示できるようになっている。



#### (2) 議会改革の取り組みについて・・・新垣議員より説明

##### ①一般質問形式について

那覇市議会では議会質問が活発で、質問回数は全国トップクラスである。毎回ほぼ全議員が代表質問または一般質問を行っている。質問時間は一括質問・一問一等どちらも15分間で答弁時間を含め30分以内となっており、盛岡市の一括質問時間の半分の時間である。

##### ②タブレット端末の活用について

那覇市では平成28年4月よりタブレット端末の導入・運用が開始されている。議場・委員会室にかかわらず使用可能となっており、貸与以外の個人所有のタブレット端末も議長に届出をすれば使用可能である

### ③質疑応答

Q1. 使用基準について、細則やマニュアルはあるのか。

A1. 使用基準が主で他には設けていない。

Q2. 情報機器使用申請書とは貸与された以外の機器を使用する際に提出するものか。

A2. はい、その通りです。自己所有などの端末を利用する際に申請していただきます。

Q3. 情報機器使用申請書は携帯電話やパソコンも申請できるか。

A3. 基本的に議場内に携帯電話、パソコンの持ち込みは禁止となっている。

Q4. パワーポイント等でプレゼン形式での質問は可能か。

A4. 現在、議論中。

現時点では事前に議長に資料の許可を得て議員に操作してもらおう状態のため、今のところは実施していない。

Q5. 他の議会では画像を議事録に載せているところもあるようだが、那覇市ではどのように扱っているのか。

A5. 議事録には載らない。

インターネット中継で動画配信をしているので、それで拝聴は可能となっている。

Q6. 資料『那覇市議会の議会 ICT 化 (タブレット端末導入) について』の 6 頁の削減効果にファクシミリ貸借料等の記載があるが、貸出があるのか。

A6. 以前は貸与があったが、昨今はほぼない。

しかしファクシミリ電話回線基本料は市で負担している。

Q7. Q6 に関連してですが、Q2 の情報機器使用申請書にて許可された端末機器を使用する際の費用はどうなるのか。

A7. 端末代金、基本使用料とも実費となります。

Q8. タブレット端末使用にあたり、議員のスキルアップ研修会の頻度はどのくらいか。

A8. 運用当時は年 2 回。今年度で 4 年目となるが、現在は年 1 回実施。

Q9. タブレット端末はリースなのか。

A9. リースになるので、任期満了の際は返却となる。任期が伸びる場合は引き続き使用できる。

Q10. 答弁書もペーパーレスで事前に紙面で確認できないのか。

A10. 那覇市ではそのような形式ではとっていない。

Q11. タブレット端末導入の運用中に議会以外の使用（自宅に持ち帰って使用等）にて、問題点や課題などはないのか。

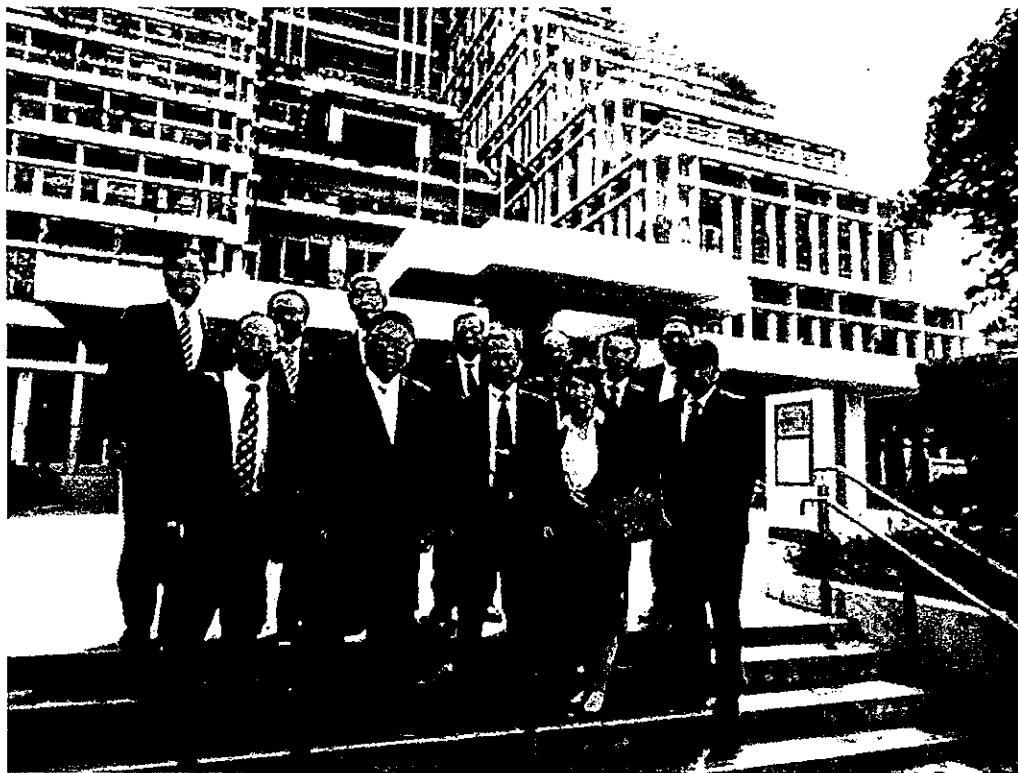
A11. キャリア（au）との回線契約の際に、紛失、盗難の際は端末検索や遠隔操作でロックをかけることができるようセキュリティには万全を期している。また、コンピュータウイルスについても強固なセキュリティ対策をしている。そのため現時点では 情報漏洩などの問題は起きていない。



沖縄・那覇のシンボル「首里城」の再建を願い、竹田幹事長より寄付金を贈呈。



議会改革とタブレットについて説明する上原議員と新垣議員



那覇市役所の前にて

政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R1. 11. 15	10,000 円	市政調査会拠出金	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	10,000 円		



政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	R1. 11. 15
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	10,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	10,000	円
【支払概要】 市政調査会拠出金 令和元年度市政調査会定期研修会		

領収書等添付欄 <input type="checkbox"/> 別紙に添付
--

25
<b>領 収 書</b>
竹 田 浩 久 様
一 金 10,000円 也
令和元年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。
令和1年11月15日
盛岡市市政調査会 会長 天 沼 久 純
